

事業報告書

令和5（2023）年度



社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

目 次

アドベンチスト福祉会

理事長	2
チャプレン	3
法人本部	4
シャローム横浜	5
シャローム桜山	33
横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ	37
グループホーム	51
シャローム三育保育園	63
沖縄事業	73

2023 年度 アドベンチスト福祉会事業報告

本年度は「経営の改善」を大きな目標に掲げて取り組んで参りました。コロナ禍以降、社会全体がそうであったように、当法人の各事業もその影響を受け続けました。コロナウィルスが感染症法上の 5 類に分類された後も、散発する感染が現場スタッフの大きなストレスとなり、他の感染症や人手不足も重なって部門によっては事業の継続に困難を来たす状況が続きました。

特に、在宅に関係する部門は高齢者や児童や障害の分野にかかわらず、地域の感染状況に大きく影響を受けるため、適切に情報を収集して正しい判断をすることが求められました。

個々の課題は残るものの、シャローム三育保育園は健全な運営を通して法人全体の経営に安定的な影響を与えることができました。地域福祉の窓口として前線に置かれた横浜市ひかりが丘地域ケアプラザも、自主事業である通所介護事業や居宅支援事業がコロナ禍の影響を受けましたが、収支の改善を果たしつつあります。グループホーム（2カ所）も年間を通して適切に入退所のコントロールを行い、収支のバランスを取ることが出来ました。シャローム横浜は、特養の入所に関わるスケジュールに課題を残すものの、入所希望者の家族や関係機関とコミュニケーションを密に取ることで、最終的には稼働率を上げることが出来ました。シャローム桜山は例年になく多くの退所者を出し、空き部屋が増えることで収入にマイナスの影響が出ています。沖縄の障害児（者）事業は、昨年 8 月の台風 6 号による被害を受けて事業所を閉鎖しましたが、年度内の再開を果たすことができました。今後、収入を増やすことが求められています。

これまでの社会福祉事業は、その性質から収益を得ることについて消極的な見方をされることもありましたが、介護保険制度の導入を機に措置から契約の時代に入ると、一転して自力による生き残りをかけた取り組みが求められるようになりました。

当法人の各事業所（現場）も、それぞれのサービスを通して対価を得ることの重要性を認識し、経営基盤の安定が最終的には目の前のご利用者の益となることを体験する必要があると感じております。それを実現するための運営と経営の在り方について、経営者会は知恵と知識を深める必要があることを実感させられた年度となりました。

アドベンチスト福祉会
理事長 村本 英邦

2023年度事業報告

チャプレン 上前 至

2023年度の事業計画において、その事業方針に、わが国におけるキリスト教社会福祉事業におけるパイオニア的存在である横須賀基督教社会館・名誉館長、神奈川県保健福祉大学初代学長・阿部志郎氏の言葉を掲げさせていただいた。曰く「福祉は（利益を求める）合理や数に立たず非合理にある。キリスト教福祉は、その非合理の上に立場を見出す」と。即ち、経営健全化は勿論大切な事であり、その事は改めて言うまでもない事であるが、そこに聖書の御言葉、思想に立脚せずしての経営健全化はアドベンチスト福祉会としてはありえないという事である。私共は、この指針を大切にしながら今年どこまで実践していく事ができただろうか。翻ると忸怩たる思いもする事、多々であるが、ここに一年を振り返りチャプレンとして主に、その霊性面（スピリチュアリティ）に焦点をあてて今年度の事業報告としたい。

1. シャローム横浜・桜山における霊的支援

- ・月曜から金曜にかけての職員朝礼を通し、基本理念を確認しつつ、各部、各事業所より主任以上には月一度の担当を決め、お互いの事業状況を知る時としている。
- ・チャプレンとして医務室（毎水曜）、保育園（第3月曜）における礼拝の時を持つ。又9月頃よりコロナ禍により暫く途絶えていた各グループホームへの訪問を再開し、利用者を中心とした集い（第1、第3月曜午後）を行った。
- ・特養各フロアの利用者への朝の集いは今年度もコロナ感染予防の観点から中止となったが、来年度には様子を見つつであるが再開できることを望む。
- ・2月28日にミッションデーとしてセブンスデー・アドベンチスト教団より柴田総務局長を迎え、デイ・ホールにて行った。30名近くの職員出席があり、コロナ禍以来、対面式集会は久しぶりの試みでもあり好評だった。

2. 沖縄事業における霊的支援

- ・年2回（春・秋）にミッションデーを兼ねた法人理念研修を行った。またその間を利用して全職員との個別面談も行った。今後も研修及び面談を行っていく。

3. 外国人介護人材への支援、関わりへの活動を通して

- ・EPA 介護福祉士候補生への学習支援指導責任者として生活支援も含み中嶋肇氏と共に毎月曜、指導支援を行った。特筆として特定技能から1名の介護福祉士のほか日本及び米国看護師資格取得者が1名出たことを報告しておく。
- ・10月（第3土曜）より、関東区域におけるインドネシア人による安息日礼拝開催を支援する。約30名が参加。

令和5年度事業報告 部門名	報告者：氏 名
法人本部	坂本 晋一
I	事業概況・実績報告 2023年度（中期計画4年目）の法人の収支改善は、前年度に引き続き、最優先課題として祈りのうちに取り組んでいった一年だった。稼働率、入居率含め厳しい状況ではあったが、事務局中心に物価高騰対策支援補助金等の取り組みや、沖縄事業及び法人への寄附金等もあり、7期振りに事業活動の当期活動増減差額が黒字（2,517,192円）となった。この結果は、各事業所が厳しい運営の中で、職員が与えられた職務を全うしてくれたこと、事業所移転等法人の危機に、多くの方々が手を差し伸べてくださったことによる結果であり、改めて支えてくださった方々への感謝とアドベンチスト福祉会の与えられた使命の必要性・重要性を再認識した。まだまだ器を満たす（稼働率）にはやるべきことは多くあり、引き続き、祈りつつ取り組んでいきたい。 事業計画で立てた取組の結果は以下のとおり。 1 シャローム横浜周辺地域での、持続可能な事業展開 ● シャローム横浜側の土地取得の為に資金計画 2021年度からの法人及び土地取得の為に寄附金（目標額2,000万円）が目標額に到達した。シャローム横浜側の土地取得の購入資金とする。 ● 就労支援を含む経済活動の計画 土地取得後の新たな取り組みを引き続き検討中 ● シャローム横浜内において放課後等デイサービスの開設 運営できる事業が高齢事業に限られているため断念。他手段を検討中。 2 主に沖縄事業を含む市外での、持続可能な事業展開 ● 保育園会計よりベーテルの夢へ1000万円の繰り入れを行った。ベーテルの夢Ⅱは安定した運営を実現できた。収支状況報告と取組に対する情報提供を行い、また、チャプレンによる法人理念に対する研修や職員のケアに取り組んだ。 ● 次年度に向け新たな事業の調査・検討・計画作成 事業所移転があり、引き続き事業を増やすか新規事業に取り組むか調査中。 ● 関係のある機関訪問、協力及び連携（随時） 施設長、園長を中心に、沖縄からの高齢・保育事業の人材確保のための学校訪問等、取り組みを開始している。 3 外国人介護人材を含む、介護人材等確保と教育への取り組みへ ● 2022年度は特定技能から介護福祉士、EPA介護福祉士が日米両方の看護師資格取得者を出した。またこれらの目標となる人物が近くにいることで、EPA介護福祉士候補者3名など、働きや学習に意欲が出ている。また期中より特養各フロアに外国人副主任を配置した。 ● 次世代を担う人材確保に向けた取組 基幹業務の次世代を担う人物が確保でき、訓練を進めている。また、高齢事業の単身者向け住宅確保の検討を開始した。

事業報告書

令和5（2023）年度



あったかいが
いいね

社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

シャローム横浜

2023年度 シャローム横浜事業報告

施設長 高原 信夫

【改善と安定運営】

2023年度は「改善と安定運営」に向けて、様々な取り組みを行ってきた。まずは、ケアサービス課の課長を特別介護棟・一般虚弱棟それぞれに任命し、新たな体制にすることで組織内のコミュニケーションを充実させ、組織の安定化を図った。また、人材不足解消のために新規採用と派遣・ワークシェアリング等を活用することにより、様々な方法で職員の負担感軽減に努めてきた。また、沖縄ベータルの夢の協力により、沖縄県立真和志高校みらい福祉科との繋がりを作ることができ、将来を担う人材獲得への道筋がかすかに見えてきた。

しかし、感染症では新型コロナで2度のクラスターが発生し、事務局・ひまわり・特別介護棟・一般虚弱棟と全体に蔓延してしまう事態を初めて経験した。また、ノロウイルスや疥癬・インフルエンザなど、新型コロナが5類に移行した後も様々な感染症が発生するなど、今後の感染症予防対策に問題を投げかける事態となった。このような状況下で現場職員よりコロナ禍で分断されたご家族や地域とのつながりを修復して、正常化したいとの意見が挙がったこととで、2024年4月から生活の場での面会実現につなげられたことは、とても大きな意味があると考えている。

今後もご家族や地域との関係性を再構築することで、地域のニーズにしっかり答え続けること、法人に貢献する人材を育てること、社会的責任を全うし続けることが経営改善につなげていけると信じ、歩んでいきたい。

記

1. 「あったかいがいいね」を目指して

相談企画課を中心に、様々な問題に対して各部署が集まって話し合いをすることで、解決につなげていく姿勢がみられてきている。また、ケアサービス課においては役職者が積極的に職員へ声掛けしてコミュニケーションを図り、仕事だけでなく、生活面も含めてフォローするなど、良い雰囲気づくりができています。また、外国籍の職員を副主任にしたことで、様々な視点で物事を捉えられるようになってきている。今後はご家族や地域の皆様との関係性を再構築することで、「あったかいがいいね」を目指していきたい。

2. 経営の改善

役職者が常に稼働率を意識して新規入所者の受け入れがスムーズになってきたが、入院が多く、感染症の発生や転倒等の事故が多発しているため、新人職員を含めた教育に重点を置くことで、法人が必要とする人材として成長させていくことを目指していく。なお、建物は建築から25年が経過しているため、様々な修繕が必要となってしまう、支出が増える事態となった。

3. 改革及び重点項目

人員が少なくなった影響により、それぞれの部署で業務の見直しが行われた。また、ケアサービス課の課長同士が密に情報交換して他部署も巻き込むことで、お互いに助け合う体制づくりができてきた。また、10月には賃金規定の見直しを行い、人材雇用と職員処遇の改善を図ることができた。来年度は人材教育を重点的に実施していきたい。

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
相談企画課		原田 明子	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1	施設内でクラスターや他の感染症が発生する等、コロナ禍において法人理念に基づく地域での施設の役割を検討したが、十分に実行できず、非常に難しい年であった。	
	2	ご利用者が「自分らしく」生活を営んでいくために、まずはご利用者と職員が健康維持すること・感染予防すること・感染症を拡大させないことを最大限に取り組んだ1年であった。	
	3	本入所・ショートステイの枠を超え、目の前にある課題に対応できるように職員同士が助け合い・支え合うチーム作りができた。	
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1	入所23名・退所24名。	
	2	5類への移行に伴い、ご家族の希望に対して月2回の外出やフリーで面会できるよう、現状を踏まえてできる範囲で実施して、ご利用者とご家族との有意義な時間を過ごして頂いた。	
	3	10月29日に開催した家族会にて感染症の理解を促し、面会方法等のご意見を伺い、検討した。	
	4	シャロームデイにて登録ボランティアとの交流が図れた。（ピザパーティー）	
	5	他部門との情報共有と協働の推進は行えた。	
	6	弁護士や保険会社と連携を図ることで、ご家族との苦情処理やリスクを回避し、対応することができた。	
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1	稼働率は特養 95.85%、短期 91.64%、合計 95.50%と目標には届かなかった。理由としては、本入所の入院者が多かったこと、短期入所の定期利用者11名が本入所に移行、体調不良によるキャンセルや亡くなられた方10名が利用終了となったことが挙げられる。	
	2	ご家族に対しては、家族会を1回（10月29日、コロナウイルス感染症についての話）を実施。8月26日・9月2日はフロア毎の花火大会が行われたが、感染リスクの為にご家族の参加は見送られた。	
	3	ケアプラン・機能訓練計画書・看取りプランの見直しは適宜行い、ご家族の声に対応できた。	

IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）
	1 個人情報に繋がる重要書類はメールボックスに分別して管理した。個人情報の高い書類については、メールボックスには入れずに直接手渡した。また、受け渡しの情報をケア記録に入力して管理した。 2 Gセッション（グループウェア）の個人スケジュールに入力の徹底をすることで、職員間の連携が図れた。 3 ご利用者・ご家族・地域に寄り添えるように「あったかいがいいね」のおもてなしは、前年度に引き続き対応できた。 4 ご家族宛に、一斉メール配信ができる環境は整えられなかったが、ホームページにて確認して頂くことを周知し、情報共有の徹底に努めた。 5 他事業者や相談員との交流を深め、情報収集と共有を積極的に取り組んでいきたい。 6 シャローム通信やホームページ、X（ツイッター）などで用いるためのご利用者の笑顔を写真で紹介しやすい環境作りについては、ご家族に肖像権の委任状をもらうことで整えることができた。
V	残された課題・その他の特記事項
	1 認知症対応型通所介護ひまわりとの定期的な連絡会で情報共有・連携の充実を図る。 2 ご利用者のニーズや課題に対して、ご家族とのミニカンファレンスをケアマネ中心に行い、コミュニケーションを図ることで苦情処理やリスクを回避していく。

【表1】ショートステイ新規利用相談（件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	6	4	7	4	3	5	6	6	5	5	4	60

【表2】特養入所相談（件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	10	9	6	4	16	9	11	5	5	9	4	101

【表3】特養待機者面接（件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	8	6	3	3	6	3	5	0	6	6	4	55

【表4】入退所の状況

(1) 年度中に入所又は退所した者の数（人）

R5.4.1在所有者数	入所者数	退所者数	R6.3.31在所有者数
108	23	24	107

(2) 年度中に入所した者の入所時における要介護度別内訳（人）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	4	16	3	23

(3) 年度中に入所した者の生活状況及び入所者数（人）

生活状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
シャロームショートステイ	1	0	2	0	1	1	1	0	1	2	1	1	11
認知症高齢者グループホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4
病院	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	4
有料老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3
他法人ショートステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所者数	2	1	2	0	1	1	2	2	4	4	3	1	23

(4) 年度中に退所した者の理由及び退所者数（人）

退所理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病院で死亡者数	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
施設看取り者数	1	1	0	1	0	2	1	3	1	2	1	3	16
長期入院退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転院退所	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
自宅へ退所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
退所者数	1	2	1	2	0	2	4	4	2	2	1	3	24

【表5】在籍者の状況について（令和4年3月31日現在）

(1) 年齢構成（歳）

平均年齢	86.9	男性	84.6	女性	87.3
------	------	----	------	----	------

年齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計
男性	0	1	0	3	4	7	1	2	18
女性	1	2	6	2	13	28	27	10	89
計	1	3	6	5	17	35	28	12	107

(2) 在籍者の要介護度別内訳（人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1	2	3	7	5	18
女性	1	11	14	42	21	89

(3) 入院者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入院者数	4	6	2	1	4	6	6	1	6	6	4	2	48	4.0
延べ入院者数	7	6	2	1	4	6	6	1	6	6	4	2	51	4.3
延べ入院日数	40	65	25	48	46	92	139	50	51	58	56	22	692	57.7

【表6】緊急ショートステイ受入件数（件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
ケアサービス課 特別介護棟		竹内 一平	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1	他部署と連携し、稼働率向上に努めたが新型コロナやノロのクラスターによりショートステイの受け入れをストップすることがあった。感染症発生時でも受け入れできる体制の再構築の必要性を感じた。	
	2	面会制限等を徐々に緩和することができた。来年度からフロア面会開始の為、これまでに以上に職員とご家族との関係性の再構築を行っていく。	
	3	4階と密に話し合いを行うことで適切な人員配置を行う事ができた。	
	4	試験的で 1 名のみだが新人職員に対し教育担当を配置して新人教育を行った。夜勤があり、すべての業務をともに行うことは困難だが、これをベースとして再検討していく。	
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1	役職者から都度職員へ声掛けすることで丁寧なケアの実践を行う事ができた。しかし第三者の目がなく、職員本位の介護となってしまうことも多く見られた。フロア面会開始するため職員 1 人 1 人に対し意識付けを行っていく。	
	2	残業や休日出勤等があったため、今後も各職員への負担軽減に努めていく。	
	3	節減するように周知したが、光熱費に関しては施設全体での取り組みが必要と感じた。各経費に関しては役職者を中心に周知を行い経費削減に努めた。	
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1	退所後すぐの入所ができずに空きベッドができてしまったなどの課題はあるが、受け入れ困難なケースも調整して相談員を中心に稼働率維持・向上に努めた。目標の 100%には届かなかった。（特養 97.23%・ショート 101.4% 合計 97.52%）	
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1	ガウンテクニックの研修の実施は行ったが、新人職員が多く実践の際には適切に行えていなかった。医務や役職者を中心に研修を反復して行う必要性を感じた。	
	2	役職者から各職員に対してご利用者のその人らしい生活の支援の為、声掛けは行っていたが、適切に行動することができなかった。来年度はより声をかけていくことで各職員が自分で行動できるようアプローチしていく。	
	3	人員不足があり、実践者研修への参加は叶わなかった。来年度認知症実践者研修の参加と必要と感じる外部研修の参加を促していく。	
	4	無資格者に対して来年度から必要になる研修の受講は全員行えた。（認知症基礎研修）来年度加算等理解を深めるとともに、専門性向上と人材育成に必要な研修参加を行っていく。	
	5	トランスボードの活用をすることで職員やご利用者の負担軽減に努める事ができた。引き続きケガや事故の発生がないよう福祉機器の使用を促していく。	

V 残された課題・その他の特記事項	
1	人員不足が続き日々の業務で手いっぱいだった為、担当業務を含めご利用者1人1人へのアプローチができなかった。来年度はご利用者本人やご家族からの思いや希望を汲み取ることで日々の生活につなげ、支援していけるように各職員が力をつける必要を感じた。
2	認知症実践者研修への参加ができずこれまで通りの対応となっていた。専門職として知識向上の為、研修参加してフロアに繋げることで統一したケアを目指す必要性がある。
3	緊急時対応について、新入職員が多く知識に乏しいと思われることが多々見受けられた。医務室や4階、相談員らと連携してマニュアルの作成と研修動画等参照にしながら実際にフロア内での実技指導の必要性を感じた。

【 特別介護棟 3階 】

表1（平均要介護度）

3階	R4年度	R5年度
平均要介護度	3.98	3.91

表2（ケアプラン家族参加率）

3階	合計	平均
ケアプラン数	58	4.83
家族出席数	25	2.08

表3（臨時カンファレンス）

3階	合計	平均
臨時カンファレス	170	14.16
（内利用者カンファレンス）	58	2.25

表4（看取りに関する計画書）

3階	合計	平均
看取りケア計画	105	8.75

表5（日常生活状況表）3月31日現在 在籍者：51名 入院者数：0名

区 分	状 態		実数
歩 行	自立歩行		7
	杖等歩行補助機使用	（介助歩行）	9
	車イス	（自操可）	4
	歩行不可		31
食 事	自分で可能		26
	一部介助		12
	全面介助		13
入 浴	一般浴		0
	中間浴		25
	特浴		26
排 泄（昼）	トイレ	自分で可能	9
		介助	20
	Pトイレ	自分で可能	0
		介助	0
	オムツ		22
排 泄（夜）	トイレ	自分で可能	6
		介助	4
	Pトイレ	自分で可能	3
		介助	1
	オムツ		37

令和5年度事業報告 部門名		報告者：氏 名
ケアサービス課 一般虚弱棟		松岡 勇次
I	事業概況・実績報告 （今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）	
	1 今年度も2回のクラスターが発生しての業務となったが、その中でも利用希望者を可能な限り受入れることができた。 2 ご家族・地域との関わりの再構築への取り組みとして、ご家族向けフロア見学会を開催予定だったが、クラスター発生により中止。後日規模を縮小して意見交換会を開催できた。また、若葉台団地に居住している職員を中心に地域の夏祭りに参加し、お手伝い等を行うことができた。シャロームデイの代わりにボランティアの方々と食事会を通じて近況報告を行うことができた。 3 人材採用を積極的に行い、ある程度の人員は確保できた。今後は継続的な採用と育成に向けて新卒等の若い人材採用を積極的に行っていきたい。 4 今年度は新入職員教育・人員不足への対応となってしまう、現状施設内での研修のみとなってしまう。今後は職員の質を高めるための研修が急務となっている。そんな中でも機能訓練指導員による嚥下及び口腔ケアの研修を実施し、業務に生かすことができた。これにより、口腔衛生委員会で指摘された利用者数は、スタート前22名（38.59%）から第5回目9名（16.36%）と改善傾向となった。	
II	業務目標の達成に関する報告 （達成できたこと・できなかったこと）	
	1 フロア内の環境整備や面会の再開に向けた取り組みを行ってきたが、クラスター発生等により十分にできていない。今後はフロア内の環境を整備して面会再開への動きを加速させていきたい。 2 業務見直しによりC勤（9:30-）・F勤（11:00-）を新設し、業務の負担を分散することで限られた人員のなかで新たな体制づくりを行った。 3 経費・光熱費については、マニュアルに基づき、さらに事務局の提案を受け実施できた。	
III	事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値）	
	1 他部署と連携により相談があったご利用者を積極的に受け入れることはできたが、稼働率ではコロナクラスターの影響や入院件数、退所後の次の入所までの期間が空いてしまった等の課題がある。（稼働率 特養 94.62%・ショート 85.1% 合計 93.73%）	
IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）	
	1 ご利用者に寄り添ったケアでは、前年度と比べてレクリエーションを強化した。ご利用者に伺ったところ、オヤツレクの希望が多かった。そのため、アイスレクや駄菓子レク等の職員の負担は少なくご利用者の満足度の高いレクリエーションを行った。 2 特別介護課も一般虚弱課も人員が不足している状況は変わらず、不足している所は声を掛け合うことで、協力体制を構築することができた。 3 フロア内でのコミュニケーションは役職者自身が積極的に声かけを行い、また外国籍の職員を副主任に任命することで国籍関係なく意見が上げられる体制を構築できた。また、自分たちで提案して業務改善を行うことで職員の自主性を担保することにつながった。 4 研修については、人員不足とコロナの影響により施設内の研修のみで外部研修に参加することができなかった。 5 事業計画の四半期ごとの見直し・評価については四半期ごとにワーカー会議を実施し事業計画の再確認と進捗の確認。そして評価と見直しを行った。	

V 残された課題・その他の特記事項	
1	外国籍の職員によるリーダー業務の従事によって、課題となっていた常勤職員の基準を明確化できたが、今年度入職した常勤職員のリーダー業務従事についてはクラスターによって計画より遅れているため、順次スタートしていく予定。
2	担当業務と係業務については、人員不足の深刻化により生活に直結する事以外は思うように機能できなかった。そのため、担当以外の職員も含めてフロア全体で取り組んできた。11月より副主任が2人体勢になったので、役職者も含めて改めて担当・係を機能させていきたい。
3	全体的に新入職員が多く、職員の質の低下は避けられない状況にあったが、ある程度人員不足が解消してきた。これからは職員教育の強化・係と担当業務の正常化、感染対応が課題となっている。
4	ご家族や地域との関わりの再構築を図ったが、クラスターや胃腸炎等の感染症の影響により思うような関りが実現できなかった。
5	2月5日の実地指導監査にて指摘された必須の研修については、実施できていなかった状況にあり。現状を整理し計画を立てて不備の無いようフロア運営に努めていく。

【 一般虚弱棟 4階 】

表1（平均要介護度）

4階	R4年度	R5年度
平均要介護度	3.71	3.7

表2（ケアプラン家族参加率）

4階	合計	平均
ケアプラン数	63	5.25
家族出席数	20	1.66

表3（臨時カンファレンス）

4階	合計	平均
臨時カンファレンス	161	13.41
（内利用者カンファレンス）	35	2.91

表4（看取りに関する計画書）

4階	合計	平均
看取りケア計画	127	10.58

表5（日常生活状況表）3月31日現在 在籍者：56名 入院者数：1名

区 分	状 態		実数
歩 行	自立歩行		2
	杖等歩行補助機使用	（介助歩行）	5
	車イス	（自操可）	18
	歩行不可		33
食 事 （経管栄養除く）	自分で可能		40
	一部介助		9
	全面介助		2
入 浴	一般浴		0
	中間浴		32
	特浴		26
排 泄（昼）	トイレ	自分で可能	12
		介助	24
	Pトイレ	自分で可能	0
		介助	0
	オムツ		22
排 泄（夜）	トイレ	自分で可能	10
		介助	7
	Pトイレ	自分で可能	0
		介助	0
	オムツ		41

令和5年度事業報告 部門名		報告者：氏 名
医務室		中村 牧子
I	事業概況・実績報告 （今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）	
	1 退所理由：施設看取り 16名、入院死亡3名、転院退所4名、自宅へ退所1名 2 感染症の発症：①インフルエンザ：ご利用者 0名・職員 8名 ②ノロウイルス：ご利用者49名・職員12名 ③コロナウイルス：ご利用者71名・職員38名（クラスター2回発生） ④疥 癬：ご利用者 3名・職員 0名 3 夜間の救急搬送：17名（表9） 4 オンコール対応：256件（看取り対応2名含む）（表9）	
II	業務目標の達成に関する報告 （達成できたこと・できなかったこと）	
	1 各部署とのカンファレンスを繰り返し行うことで、現場主導でご利用者へのサービスを提供することができた。 2 新型コロナの5類への変更に対して感染症対策委員会にて検討を重ね、対策を立案した。 3 利用希望者をどのように受け入れるかを常に考えてきたが、人員不足のために体制づくりまでには至らなかった。 4 コロナクラスター発生時のご利用者・職員に対する精神的ケアは昨年同様できなかった。 5 コロナ対策に追われ、ご利用者のADL低下や皮膚状態の悪化・栄養状態の低下等に対して対策することができなかった。今後の課題としたい。	
III	事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値）	
	1 感染予防対策を実施して異常の早期発見に努めたが、月平均の入院日数は58日と目標の40日以下を大幅に超えてしまった。 2 入院日数の増加により、特養・ショート合わせた年間稼働率は95.50%となった。	
IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）	
	1 ショートステイから特養入所になる場合、かかりつけ医を施設嘱託医に早めに変更することにより、11名をスムーズに受け入れることができた。 2 LIFEへの取り組みを各部署と話し合い、体制づくりを行った。 3 介護職員の喀痰吸引、経管栄養の研修を実施し、19名が資格を得ることができた。介護の現場でご利用者に実施できるようになった成果は大きく、特に看護師がいない夜間帯の吸引実施は、痰による窒息のリスク減少に繋がった。 4 感染対策に労力を取られてしまい、新たな医療処置が必要なご利用者の受け入れについて検討できなかった。 5 人員不足に対してワークシェアリングであるカitek看護を新たに導入し、人員不足の解消、業務遂行への影響を最小限に抑えることができた。	
V	残された課題・その他の特記事項	
	1 新型コロナ感染症が5類となったことで、今後に於いても流行が繰り返されることが予想されるため、各部署と連携して感染対策の見直しを行う。 2 ご家族のフロアでの面会が行われる中で、何を望まれているのかをご本人・ご家族を交えたカンファレンスを各部署と連携して活発に行っていく。 3 医師への早めの報告と指示受けや各部署との連携により、夜間の救急搬送を15名にとどめることができたが、対策の見直しにより、日中の受診へと繋げられる可能性が高い。次年度の課題としたい。	

表1.【医師の診察】

<往診>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	来所回数	4	4	4	4	5	5	5	5	4	4	4	5	53
	診察人数	67	78	57	59	70	86	88	108	61	95	62	52	883
精神科	来所回数	3	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	23
	診察人数	59	40	5	23	9	7	18	7	4	8	8	11	199
歯科	来所回数	4	5	4	3	4	4	5	4	2	4	4	4	47
	診察人数	38	41	37	21	38	34	50	33	22	33	36	38	421
皮膚科	来所回数	1	1	2	0	1	1	1	0	1	0	1	1	10
	診察人数	12	13	20	1	13	9	13	0	12	0	4	8	105

<嘱託医へFAX(報告・相談)人数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中希望が丘診療所	11	7	13	10	12	24	12	15	13	32	5	5	159
神奈川病院	1	0	0	5	2	0	0	4	0	0	0	1	13
浅井皮膚科クリニック	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4

表2.【外来受診・健康診断】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3	9	10	1	9	11	6	2	5	3	7	12	78
眼科	6	2	2	0	1	4	1	0	2	1	2	1	22
皮膚科	3	4	3	3	5	5	7	1	4	3	1	3	42
整形外科	2	3	3	1	0	6	6	6	5	3	2	4	41
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
外科	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
救急外来	0	5	1	1	2	2	3	0	1	4	4	1	24
脳外科	1	2	3	3	3	1	3	1	3	3	3	8	34
婦人科	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	5
形成外科	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
精神科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
耳鼻科	1	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	6
内視鏡	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
輸血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	27	29	13	22	30	28	13	22	20	20	30	273

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急搬送本入	2	4	3	2	4	2	4	1	3	8	2	2	37
救急搬送ss	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

	7月	9月
健康診断	49	51

入院時病名	肺炎(うち誤嚥性肺炎含)	コロナ肺炎	尿路感染 尿管結石	胆のう炎・胆管炎・総胆管結石	ステント抜去・交換	心不全	房室ブロック	脱水	呼吸不全	貧血
人数	17	1	4	2	3	6	1	1	1	1
入院時病名	脳梗塞	脳出血	症候性てんかん	帯状疱疹	胃瘻造設	消化管出血	骨折	検査	胃腸炎	合計
人数	2	1	2	1	1	2	2	1	2	51

表3. 【医療処置】月末時点(入院者含まず)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃ろう	5	5	5	5	5	5	7	7	7	7	7	7	72
ストマ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
在宅酸素	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16
尿道留置カテーテル	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
常時吸引	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30
褥瘡(Ⅱ度以上)	5	5	6	6	2	2	4	4	6	6	11	11	68
吸入	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	27
合計	19	19	20	20	15	15	20	20	22	23	28	28	249

(SS含まず)

表4. 【歯科衛生士による口腔ケア】

口腔ケア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所回数	4	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	41
実施人数	89	93	91	55	67	63	79	60	56	56	57	62	828

表5. 【リハビリ】

〈PTによるリハビリ〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所回数	3	2	3	1	1	3	3	2	2	2	3	2	27
指導人数	15	10	14	5	5	13	8	8	8	8	11	8	113

〈機能訓練指導員によるリハビリ〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施数	56	46	38	21	22	33	29	25	20	37	55	53	435

- ・感染症やコロナクラスター対応のため、件数減。
- ・介護職員とともにシーティングやポジショニングを確認し、定着に努めた。

表6. 【予防接種】

肺炎球菌	①ニューモバックス	②プレベナー
特別介護棟	5	0
一般虚弱棟	1	1
合計	6	1

注:①市の助成あり ②助成なし自費

コロナワクチン	5回目	6回目
特別介護棟	42	42
一般虚弱棟	31	30
合計	73	72

特別介護棟 6/13,12/26
一般虚弱棟 6/20,11/21

インフルエンザ	
特別介護棟	48
一般虚弱棟	50
合計	98

表7. 【外部研修参加】

※コロナ禍にて外部研修(zoom含)の参加なし。

表8. 【他部署への研修実施】令和3年12月4日～喀痰吸引等実地研修

※コロナクラスターにてフロア間の行き来ができず、実習が延期になることが多かった。

表9【夜間オンコール】18:30～翌朝7:30

月別のオンコール件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	16	24	22	26	27	11	11	20	40	20	15	256

症状別の件数・救急搬送数

SP02 低下	呼吸	血圧	けい れん	麻痺	嘔吐	下痢	高熱	意識 レベル 低下	呼吸停 止(看取 り)	転倒	頭痛	腹痛	胸痛	出血	その他	救急 搬送
27		6	1	0	41	0	103	9	2	41	3	0	8	5	9	17

(1人に複数症状ある場合あり)

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
栄養課		小寺 秀偉	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1	今年度は仕入れ先の食品見直しと新しい業者を増やし、食材の質を落とさずにご利用者への食事提供ができた。	
	2	食事サービスでは、ご利用者側の事情による単発でのご利用を積極的に受け入れた。また、見守りが必要な方の変化を関係者に報告するなど地域に貢献することができた。	
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1	行政の指導に基づきHACCP（国際衛生管理法）の見直しを行い、日常業務に取り入れることができた。	
	2	摂食嚥下機能低下や食欲減退されている方々等、ご本人やご家族に対して食べたいものや好きなものをお聞きし、好物を味わっていただく機会を設けることができた。	
	3	食事サービスでは季節に合わせたイラストを載せた掛上を用意し、配達員の声掛けによりコミュニケーションを取ることで、楽しみながら安心して生活していただくことができた。	
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1	HACCP（国際衛生管理法）により、栄養課のミーティング時に職員向けの見直し研修を月1回行った。	
	2	今年度も感染症の影響等あり、月1回のデザート行事食の計画をたてることができず達成することができなかった。	
	3	地域での配食一日平均 約124食で平均130食には届かなかった。（表3）	
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1	食品の高騰を抑えるため、食材料費の価格交渉を業者と行う事によって、食材価格を前年度に比べて抑える事ができた。	
	2	栄養課主催の行事を見直し、生魚使った（マグロの解体ショー）を行ってご利用者に喜んで頂いた。	
	3	ご利用者の生活をより良いものとする為、加算取得に取り組んできたが、課題であった多職種の連携も徐々に図れるようになってきた為、引き続き取り組んでいく。	
	4	各フロアに設置した意見箱には3階：9件、4階：20件の意見をいただくことができた。現状に満足して下さっている方々も多くいたが、引き続き満足度を高められるよう工夫していく。	
	5	食事サービスでは日常での見守りが必要なご利用者に対して、その変化をケアマネージャー及びご家族にその都度報告することができ、ご利用者に対して早期に対応ができた。また細かな連絡事項については、アルコールチェック表に連絡メモを設置して全号車に対する連絡事項をすべての配達員が周知できるようにした。車両に関しては残念ながら物損事故が多かった。	
V	残された課題・その他の特記事項		
	1	献立の組み合わせで品目は違うが食材が重なる等の指摘もあり、見直しが必要と思われる。また食事サービスでは交通違反や車両に関する事故が多かった為、安全走行の見直しや落ち着いて穏やかに走行する習慣をつけることが必要と思われる。	

表1【栄養ケア・マネジメント】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
高リスク	8	8	10	10	8	7
中リスク	60	64	62	61	60	71
低リスク	36	33	33	34	36	27
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高リスク	9	8	9	12	10	7
中リスク	67	77	74	71	75	73
低リスク	28	19	21	21	20	24

表2【行事食実施記録】

● イベント食

敬老祝い膳 (9月17日)	赤飯、清汁、ぶりの西京焼き、天ぷら（海老、南瓜、なす、ピーマン）
	炊き合わせ（里芋、椎茸、絹さや、紅葉麩、かに入り卵蒸し）
	柿とほうれん草の白和え
	寿饅頭

クリスマス ディナー (12月25日)	パン(クロワッサン、ホワイトブレッド)、シーフードパエリア、オニオンスープ
	ビーフシチュー（牛肉、しめじ、人参、玉ねぎ、ブロッコリー）、ほうれん草とベーコンのキッシュ、じゃが芋のミモザサラダ、肉禁（サモンソークリームソースかけ）
	洋梨のケーキ、ぶどうのケーキ、ワイン（ノンアルコール）

正月祝い膳 (1月1日)	雑煮（鶏肉、ほうれん草、花形人参）、海老の姿焼、伊達巻、
	栗きんとん、紅白なます、黒豆、紅白かまぼこ、昆布巻、数の子、
	鰯の西京焼き、鶏肉の三色巻
	煮物（里芋、京人参、筍、椎茸、絹さや）

● 喫茶（月によってはミキサー食の方にも召し上がって頂けるように配慮したデザートを提供）

4月	ストロベリーケーキ、桃のケーキ	10月	ティラミス、サワーチェリーケーキ
5月	ティラミス、白桃ムースケーキ	11月	いちごショートケーキ
6月	ストロベリーケーキ	12月	オペラケーキ
7月		1月	オペラケーキ
8月	サワーチェリーケーキ	2月	チョコケーキ
9月	マロンケーキ	3月	ダブルベリーケーキ

◎飲物・・・コーヒー・紅茶のどちらか好きなものを選択

表 3【食事サービス】

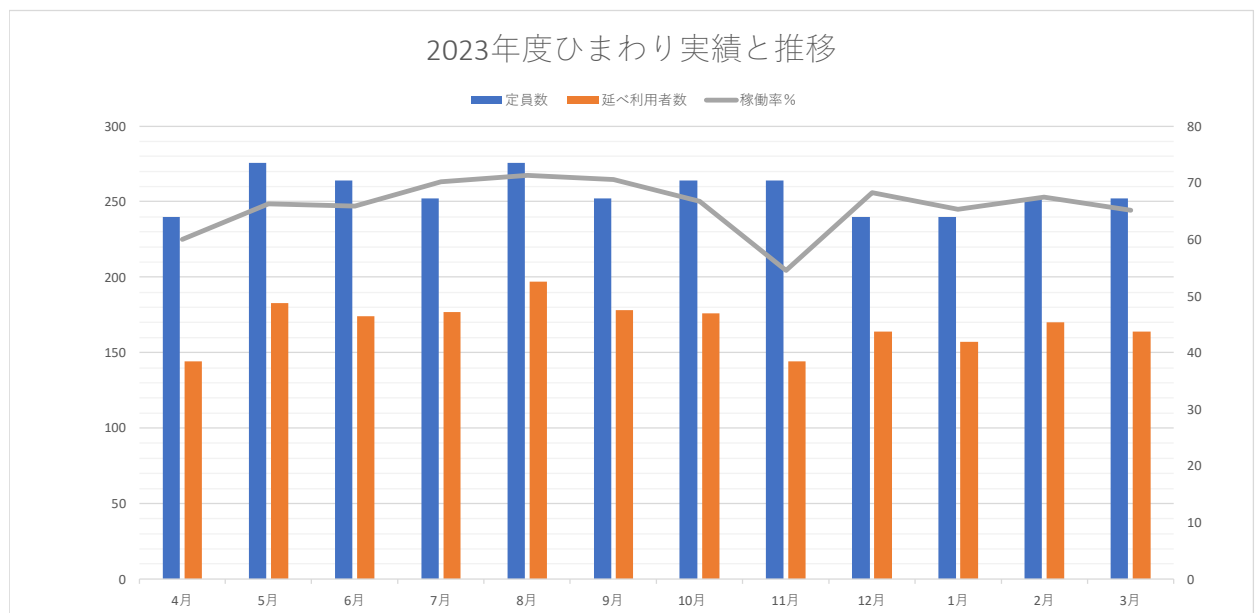
● 食事サービス実績表

	月別実績 食数	一日平均 食数	前年度比率
4 月	2,398	119.9	92.2%
5 月	2,796	121.6	94%
6 月	2,717	123.5	95%
7 月	2,573	122.5	94%
8 月	2,714	118.0	91%
9 月	2,555	121.7	94%
10 月	2,721	121.7	95%
11 月	2,748	124.9	96%
12 月	2,616	124.6	96%
1 月	2,514	125.7	97%
2 月	2,673	127.3	98%
3 月	2,696	128.4	99%
計	31, 721	123. 4	94. 9%

令和5年度事業報告 部門 名		報告者：氏 名	
認知症対応型通所介護（ひまわり）		池原 雅彦	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1. 理念を念頭に、ご利用者が楽しめるようにと新たに入った職員と共にレクリエーションの種類を増やしたことにより、笑顔や笑い声が多く聞かれるようになった。外出レクリエーションも積極的に取り入れ、満足な声が多く聞かれるようになった。 2. 地域のニーズがどこにあるのかを居宅介護支援事業所等への営業の際に模索することにより、徐々に新規利用者数を増やすことができた。しかし、同時に施設入所等の理由により終了者が出ているため、より多く営業に行く必要性を痛感している。 3. 感染症については、11月20日よりご利用者9名、職員5名の新型コロナ感染が確認され、ご家族にも感染が広がる事態となってしまった。今回の経験を踏まえて事業継続計画（BCP）を見直してご利用者・ご家族が安心できる体制を構築したい。		
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1. 当サービスの利用を決める要因の一つとして、併設しているショートステイの利用を希望されている方が多くおり。多くのご家族はレスパイトが実現できている。その他、土日のサービス希望の声もあったが、現状では土日を挟むショートステイご利用を勧めている。 2. 当施設のショートステイご利用の際に特養相談員と連携を密にすることにより、スムーズにご利用していただくことができた。また、送迎時にヘルパー事業所との連携や帰宅時に配食サービスのお弁当と一緒に持ち帰るなど、ご利用者のニーズに応えるために各機関との連携を図ることができた。 3. 稼働率（表）は7月・8月・9月の3か月間は70%台を維持したが、それ以外は60%台にとどまってしまった。11月はクラスター発生のため、50%台まで落ち込んだが、年度末にかけて見学・契約が多くあり、今後の稼働率向上に期待したい。		
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1. 年間通じて66%の稼働率となった。ひまわりの実績と推移の表を参照。 2. 居宅支援事業所からの紹介件数は26件/年。 3. ひと月あたりの営業件数1.83。 4. 定期的な在宅ミーティングは実施できなかったが、ショートステイ相談員とは常に連絡を取り合い、情報共有することができた。		
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1. 業務改善 ・タイムスケジュールの可視化はできたが、そこから改善・削減するまでの具体的な動きにまでは至らなかった。 ・事業継続計画（BCP）のマニュアルは作成できたが、今後は内容の見直しを行う予定。 2. 業務強化 ・ご利用者の地元の郷土料理をテーマにイベントを実施し、出身の方と一緒に楽しめた。 ・毎月の定期訪問はできなかったが、不定期で訪問営業を行った。 3. 業務の新たな試み ・LIFEを導入するための理解に時間がかかってしまい、導入にまでは至らなかった。 ・ご家族や地域の方出席のもとで運営推進会議は開催できたが、家族会は再開できなかった。		

V	残された課題・その他の特記事項
	1. ご利用者が楽しめるプログラムを多く提案（クッキング・季節に応じた外出レク・室内ゲーム・ボランティアによる紙芝居・職員によるクリスマスの出し物など）、その様子を写真に収めてご家族へ提供することや営業周りのアピールポイントとして、写真を多く載せた通信を発行するなどした。 2 今後は法人内の保育園児との定期的な交流を持っているが、より密接に関わることで、ご利用者がいきいきし、園児もお年寄りをいたわる気持ちを育むことができるよう関係性を高め、ひまわりの特徴としていきたい。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
定員数	240	276	264	252	276	252	264	264	240	240	252	252	256
延べ利用者数	144	183	174	177	197	178	176	144	164	157	170	164	169
稼働率%	60	66.3	65.9	70.2	71.4	70.6	66.7	54.5	68.3	65.4	67.5	65.1	66.0
登録者数	18	20	22	23	23	22	19	21	21	21	23	23	21.3



令和5年度事業報告 部門名		報告者：氏 名
事務局		小林 広幸
I	事業概況・実績報告 （今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）	
	【改善と安定運営】を基本方針とし、法人の基本理念「いのちを敬い いのちを愛し いのちに仕える」を実践し、誰からも『あったかいがいいね』と言っていただける事務局職員となるように努めた。	
II	業務目標の達成に関する報告 （達成できたこと・できなかったこと）	
	「お互いの理解を深める取り組み」として、対人援助サービス業であることを忘れず、マナーとコミュニケーション、苦情・クレーム対応能力を磨き、電話対応・来訪者・地域の方々、そして職員への尊敬や敬意を払う言葉使いを実践できた。 - グループセッションのチャット機能を活用し、仕事の見える化・情報共有の効率化を進め、組織に欠かせないコミュニケーションを活発化することができた。 - 職場環境の美化、整理・整頓を常に考え行動することができた。	
III	事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値）	
	- 法人内車両事故について - 令和5年度の車両事故（表5）は12件にて前年度と同数だが個々の保険適応金額が高く、令和6年度の優良割引率が36%に低下した（令和5年度：優良割引41%）。引き続き保険会社と連携し車両事故を減らす取り組みを行う。 - 各種助成金・補助金の申請を行った。 - 横浜市新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業等のサービス提供体制確保事業（通称：かかり増し助成） - 特養2回分の申請（令和5年度分）：5,833,000 円 - グループホーム2事業所分の申請（令和4年度分）：6,064,000 円 - 横浜市高齢者施設等物価高騰対策支援事業 燃料・光熱費及び食費高騰へ支援（上半期・下半期）法人内8事業分の申請：9,642,000 円 - 横浜市介護施設等における看取り環境の整備事業費補助金を活用し、特養3階・4階静養室のフルリフォームを実施した。交付決定金額：3,419,000 円 - 大規模修繕を伴う介護ロボット・ICT 補助金等を活用し業者の入札にて、転倒事故のリスクを低減することを目的に全居室のコンセント修繕及びセンサー付き介護ベッド118台を導入することができた。交付決定金額：37,611,000 円 - 令和3年度介護報酬改定に伴う各種加算の対応を各委員会と連携し、国保連・利用料請求に繋げ収入アップを目指し、令和5年度は新たにADL維持加算Ⅱを算定し年間で849,024 円の収入となったが、口腔衛生管理加算Ⅱについて2月9日の横浜市指導監査実施時に詳しく確認し加算申請を1月以降は見送ることにしたため、3か月分の3,889,136 円の減収となった。引き続き令和6年度の介護報酬改定に対応する。	

IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）
	1 大地震等の自然災害、感染症のまん延など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための事業継続計画（BCP）を作成。今後も各関係委員会とも連携し内容を更新する。 2 特養3階の一般浴を改修し機械浴を検討したが、横浜市の介護施設等における感染拡大防止対策に係る支援の環境拡大防止のためのゾーニング環境等の整備に要する費用の補助金の対象とはならず断念した。 3 令和5年10月から開始のインボイス（適格請求書）に対応するために、令和4年度から準備を進め対応をすることができた。
V	残された課題・その他の特記事項
	1 6月に特養4階の特浴が故障し、修理不能にて新たに新機種を導入した。2月に非常用放送設備が故障したが修理不能にて設備全体の交換が必要な状況である。同様に開設してから26年が経過し老朽化した各設備は故障すると交換部品の入手が困難となってきたため、計画的な修繕計画を作成し順次対応したい。 2 法人内業務車両34台の車両管理を行い、過走行4台の車両の入れ替えを実施した。 3 損害保険請求は5件、特養利用者の義歯紛失・破損3件、ベーテルの夢Ⅱの台風被害、シャローム横浜では落雷による電気設備の故障被害を対応した。 4 労災申請4件、職員の業務中の事故11件を業務災害保険で対応した。特に通勤途中の車両事故が6件有り、今後は任意保険加入状況の確認を行う予定。 5 3月31日現在の法人全体職員数（表1）は297名であるが、令和4年度・5年度の2年間で72名が退職し、75名が入職した（表2）。今後の職員定着に向けた取り組みが急務である。

1.職員の配置状況

R6. 3. 31現在

		介護老人福祉施設		短期入所生活介護	LSA	キッズクラブ	通所(認知)	高齢者食事サービス	認知症GM部門		シャローム桜山	シャローム三育保育園	沖縄部門			ひかりが丘地域ケアプラザ							計																	
		常勤	嘱託	非常勤	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	ベータル	ベータルⅠ	ベータルⅡ	地域・交流	地域包括支援	介護予防支援	生活支援	在宅サービス																			
																					居宅	通所																		
																					現員	現員		現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員
施設長・副長・管理室	常勤	1					0.1		0.5	0.5	1	1	0.4	0.6		1	0.125	0.375			0.1	0.85	7.55																	
	常勤	2.4					0.6		0.6	0.6	0.3	0.6										0.75	5.85																	
	嘱託																					(0)	0																	
	非常勤	(0.6)	2			(0.14)		(0.14)	(0.14)	(0.08)	(0.14)											(0.26)	(1.5)	2																
事務局	常勤											1											1																	
	嘱託																					(0)	0																	
	非常勤															(0.56)	1				(0.49)	1	(1.05)	2																
	常勤	2	1	1		1.2					1						1			1		1.2	(1)	9.4																
生活相談員・訪問支援員	嘱託															(1)	1						(1)	1																
	非常勤					(0.5)	1																(0.5)	1																
	常勤	2																1	1			0.9		4.9																
	嘱託																	(0.2)			(0.8)	1	(1)	1																
介護支援専門員	非常勤																					(0)	0																	
	常勤								0.5	0.25													(0)	0.75																
	嘱託										(0.2)	1											(0)	0																
	非常勤																						(0.2)	1																
児童発達支援管理責任者	常勤													1										1																
	常勤	27	6				0.7		4.5	4.75	1	16				1						3.8	64.75																	
	嘱託	(2)	2			(1.)	1		(2.)	2	(6)	6	(1)	1	(2)	2						(1)	1	(15)	15															
	非常勤	(13.27)	25	(0.94)	1		(2.9)	3	(6.6)	10	(4.14)	7	(1.8)	4	(5.38)	10						(5.03)	8	(40.46)	70															
放課後児童支援員	非常勤				(2.4)	4																	(2.4)	4																
	常勤														2	1								3																
	非常勤													(0.45)	1	(0.7)	2						(1.15)	3																
	指導員															1								1																
看護師	常勤				(2.43)	9							(1)	1								(3.43)	10																	
	嘱託	3	1									1						1				0.7	6.7																	
	非常勤	(2.8)	4				(0.2)	2	(0.2)	1	(0.2)		(0.2)	1							(1.85)	3	(5.45)	11																
	常勤	1																				0.1	1.1																	
機能訓練指導員	嘱託																					(0)	0																	
	非常勤	(0.16)	2	(0.1)		(0.1)																(0.3)	(0.66)	2																
	常勤	4									1	2												7																
	非常勤																					(0)	0																	
栄養士	常勤	4						1			2											1	8																	
	嘱託	(1.)	1																				(1)	1																
	非常勤	(6.75)	13			(1)	1				(0.6)	1	(0.98)	2							(3.18)	4	(12.51)	21																
	常勤	(1)	1																				(1)	1																
清掃	嘱託	(4.58)	5														(0.4)					(0.9)	2	(5.88)	7															
	非常勤	(1.34)	3																				(1.34)	3																
	常勤	0.4					0.1		0.1	0.1	0.05	0.1										0.15	1																	
	嘱託	(0.4)	1			(0.25)	(0.35)																(1)	1																
介助員運転手	非常勤	(2.13)	4			(0.1)	1	(1.29)	5			(0.03)	1	(0.38)	1						(0.3)	1	(4.23)	13																
	常勤	(0.05)	2	(0.01)																			(0.06)	2																
	嘱託																																							
	非常勤																																							
医師	常勤																																							
	嘱託																																							
	非常勤																																							
	計	(82.88)	111.8	(9.05)	9	(1)	1	(4.83)	13	(8.89)	11.7	(2.64)	6	(15.14)	19.2	(16.88)	20.2	(9.83)	12.35	(30.23)	36.7	(0.4)	0.4	(5.63)	7.6	(5.1)	8	(3.085)	3.125	(4.375)	4.375	(1.2)	1	(1)	1	(1.8)	2	(21.86)	28.55	(225.82)
事業毎の配置人員	常勤	46.8	8	1	0	2.7	1	6.2	6.2	6.35	21.7	0.4	3.6	4	1.125	4.375	1	1	1		8.55																			
	嘱託	(4.4)	5	(0)	0	(0)	0	(1.25)	1	(0.35)	0	(2)	2	(6)	6	(1)	1	(2)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0.8)	1	(1)	1			
	非常勤	(31.68)	60	1.05	1	(0)	0	(4.83)	13	(4.94)	8	(1.29)	5	(6.94)	11	(4.88)	8	(2.48)	5	(6.53)	13	(0)	0	(2.03)	4	(1.1)	4	(0.96)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(12.31)	19			
	計	(82.88)	111.8	(9.05)	9	(1)	1	(4.83)	13	(8.89)	11.7	(2.64)	6	(15.14)	19.2	(16.88)	20.2	(9.83)	12.35	(30.23)	36.7	(0.4)	0.4	(5.63)	7.6	(5.1)	8	(3.085)	3.125	(4.375)	4.375	(1.2)	1	(1)	1	(1.8)	2	(21.86)	28.55	
施設毎の配置人員	常勤	54.8	1	0	2.7	1	12.4		6.35	21.7	8										17.05																			
	嘱託	(4.4)	5	(0)	0	(0)	0	(1.25)	1	(0.35)	0	(8.)	8	(1)	1	(2)	2				(3)	3																		
	非常勤	(32.73)	61	(0)	0	(4.83)	13	(4.94)	8	(1.29)	5	(11.62)	19	(2.48)	5	(6.53)	13				(13.27)	20																		
	計	(91.93)	120.8	(1)	1	(4.83)	13	(8.89)	11.7	(2.64)	6	(32.02)	39.4	(9.83)	12.35	(30.23)	36.7				(11.13)	16					(33.32)	40.05												
法人全体	常勤																				125																			
	嘱託																				(20)	20																		
	非常勤																				(80.82)	152																		
	計																				(225.82)	297																		

2. 職員の入退職の状況

●法人内入職者明細

	令和4年度		令和5年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
特養3F	2	0	4	2
特養4F	2	1	7	6
医務	0	2	1	1
相談員	0	0	0	0
通所・認知	0	0	1	0
居宅	0	0		
栄養課	1	5	1	4
事務局	1	1	1	0
LSA	0	0	0	0
キッズ	0	1	0	2
ケアハウス	0	0	0	0
ひ地域	0	1	0	0
ひ包括	1	0	2	0
ひ生活	0	0	0	0
ひ居宅	0	0	0	0
ひ通所	0	6	2	2
ミルトス上	0	0	1	1
ミルトス鶴	0	1	0	1
保育園	1	2	2	3
ペーテルの夢	0	0	0	1
ペーテルの夢Ⅱ	0	0	1	1
計	8	20	23	24

ひ＝横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

●法人内退職者明細

	令和4年度		令和5年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
特養3F	0	2	1	1
特養4F	4	4	5	2
医務	0	3	2	0
相談員	0	0	0	0
通所・認知	0	0	0	1
居宅	0	0		
栄養課	0	2	1	4
事務局	0	2	0	0
LSA	0	0	1	0
キッズ	0	0	0	0
ケアハウス	0	0	0	0
ひ地域	0	1	0	1
ひ包括	1	0	0	0
ひ生活	0	0	0	0
ひ居宅	0	0	1	0
ひ通所	1	6	3	4
ミルトス上	1	2	0	0
ミルトス鶴	0	3	0	1
保育園	2	2	3	3
ペーテルの夢	0	0	0	1
ペーテルの夢Ⅱ	1	0	0	0
計	10	27	17	18

3. 職員の研修参加状況

施設外研修

	令和4年度		令和5年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	2	2	0	0	-2	-2
5月	2	2	2	2	0	0
6月	9	9	13	13	4	4
7月	3	3	8	8	5	5
8月	4	4	6	6	2	2
9月	4	4	7	7	3	3
10月	5	5	12	12	7	7
11月	8	41	5	5	-3	-36
12月	2	2	9	11	7	9
1月	4	6	6	9	2	3
2月	5	6	5	5	0	-1
3月	4	4	0	0	-4	-4
合計	52	88	73	78	21	-10

施設内研修

	令和4年度		令和5年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	1	52	1	70	0	18
5月	1	75	1	64	0	-11
6月	4	119	1	75	-3	-44
7月	1	63	2	144	1	81
8月	0	0	1	85	1	85
9月	1	74	1	72	0	-2
10月	1	76	2	91	1	15
11月	1	24	2	78	1	54
12月	0	0	1	70	1	70
1月	2	2	1	71	-1	69
2月	1	76	3	183	2	107
3月	0	0	3	244	3	244
合計	13	561	19	1,247	6	686

全体	65	649	92	1,325	27	676
----	----	-----	----	-------	----	-----

4. 職員夜間送迎サービス実績一覧

R6/3/31報告

R07/07/31報告

		利用人数						合計	1日あたり平均利用人数
		1番送迎①	1番送迎②	2番送迎	3番送迎				
	実施 日数	16:15	17:35	17:55	18:15～18:45	19:00～19:45	20:00～		
R5.4月	30	22	22	70	1	22	21	158	5.3
R5.5月	31	30	27	89	2	32	26	206	6.6
R5.6月	30	21	22	75	4	42	15	179	6.0
R5.7月	31	23	17	79	0	27	15	161	5.2
R5.8月	31	24	18	90	6	52	9	199	6.4
R5.9月	30	29	16	76	6	39	36	202	6.7
R5.10月	31	24	24	74	4	56	34	216	7.0
R5.11月	30	58	17	80	1	54	39	249	8.3
R5.12月	31	49	24	45	2	42	33	195	6.3
R6.1月	31	50	21	44	3	39	33	190	6.1
R6.2月	29	44	10	48	0	44	34	180	6.2
R6.3月	31	51	25	44	1	35	39	195	6.3
	366	425	243	814	30	484	334	2,330	6.4

5. 法人内業務車両事故

No.	発生日	事業	車両	事故内容	保険適応	出費額
1	5/17	ペーテルの夢Ⅱ	ムーブ28-66	前方車両がバックし接触された	相手側の保険にて修理	
2	5/31	ペーテルの夢Ⅱ	ステップワゴン66-61	車両左後方がブロックに接触した	車両保険	¥330,000
3	6/12	ひかりが丘cp通所	ミライース70-31	バックし停車中の車両に接触した	車両保険にて修理	¥45,232
			相手方車両	車両修理	対物賠償保険にて修理	¥221,034
4	8/5	ペーテルの夢	ムーブ44-89	台風で大型冷蔵庫が倒れ車両に接触した	車両保険にて修理	¥219,659
5	9/1	ひかりが丘cp通所	ミライース70-31	右折時に歩行者に接触した人身事故	対人賠償責任保険	示談成立→保険金支払い
6	9/22	シャローム横浜SS	ワゴンR 34	交差点にて後方から衝突され利用者と職員通院・修理せず廃車	相手方の保険適応	
7	9/29	ひかりが丘cp通所	キャラバン33-47	Uターン時に後方の車両に接触する物損事故	対物賠償保険にて修理	¥137,720
8	10/5	シャローム横浜横浜DS	ルクラ3-75	信号待ちで後方から追突された物件事故	相手方の保険にて修理	
9	11/28	ひかりが丘cp通所	キャラバン59-26	バック時にシャッターに接触する	修理不要	
10	11/28	シャローム横浜食事サービス	アルト37-94	切替し中に前方に接触する	保険使用せず部品交換修理	
11	1/5	シャローム横浜食事サービス	アルト36-24	道を譲られ慌てて左折しガードレールに接触する	保険使用せず錆止め修理	
12	3/18	シャローム横浜食事サービス	アルト36-24	バック時に電柱に接触する	保険使用せず部品交換修理	

令和5年度事業報告 部門名		報告者：氏 名
横浜市高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業		溝口 成一
I	事業概況・実績報告 （今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）	
	・市営ひかりが丘住宅において居住される高齢者の生活相談、見守り、安否確認を行った。 ・お茶飲みサロンはコロナ禍であったが、昨年度の2月より開始した。アウトリーチ活動としてリフォーム中の住宅より1件の新規見守り登録があり。問題の早期発見・早期解決を目指した。 ・相談者実数：147 件 相談延べ件数：169 件 ・相談内容の内訳 病気：11 件、介護：12 件、経済面：2 件、家事：61 件、子育て：0 件、家族関係：4 件 制度関係：23 件、防犯・被害：7 件、近所関係：28 件、住環境：25 件 ・相談への対応(重複あり) 傾聴：169 件、情報提供：39 件、書類提出支援：11 件、助言：55 件 その他(応急的家事支援など)：51 件、包括や役所等への引継ぎ：13 件 ・お茶飲みサロン実施回数：50 回、参加者：499 名、男性：44 名、女性：455 名 ・見守り登録世帯数：114 世帯（2024 年 3 月 31 日現在） 見守り登録の性別 男性：33 名、女性：80 名 転入世帯訪問 1 件、見守り電話回数：2428 回、見守り訪問回数：490 回	
II	業務目標の達成に関する報告 （達成できたこと・できなかったこと）	
	1 相談援助回数：前年実績を上回り、前年比：119.8% 2 見守り事業：登録数 114 世帯。見守り登録者の孤立死は無かった。 3 お茶飲みサロン：昨年度の2月より週1回で開始。今年度も引き続き開催することができたが、高齢化に伴い参加者の脚腰が弱ってきたこともあり、杖歩行等の参加者は強風の日や雨の日はお休みされる方が多かった。 4 アウトリーチ活動：新規入居者があったため、訪問して1件新規登録者となった。	
III	事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値）	
	1 相談対応後の結果（不満）件数の目標が0件のところ、特に不満はなかった。 2 見守り登録世帯の総数は100世帯以上を維持することができた。 3 見守り登録世帯の孤立死件数0件だった。（ここでの“孤立死”の定義は「死後4日以上経過して発見された事例」とする） 4 お茶飲みサロンは週/1回開催することができ、平均9.98名の方々が参加しほぼ達成。 5 市営住宅に高齢者の新規入居者があり、その中から新規見守り登録者が1件あった。また、包括や見守り登録者等の口コミで、新規見守り登録をすることができた。	
IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）	
	1 2名で職務に就いていたが、以前から腰痛だった職員が更に状態が悪化し令和5年10月に退職したため、再び1名で対応することになった。未だ増員できない状況の為、事務処理が追い付いていない状況である。早急に増員ができればと思っている。 また、コロナが以前より縮小傾向になっているので、お茶飲みサロンを継続して行う事ができた。ケアプラザの生活支援コーディネーターに参加いただき、ケアプラザでの催事のアピールなどを行い、一緒にお茶飲み会を行う事ができた。	

V	残された課題・その他の特記事項
	1 相談対応や見守りに関して事務所が遠方なこともあるので、できる限り迅速に対応できるように心掛ける。 2 近所関係の相談は解決が困難であるが、状況を把握し相談者に寄り添った対応ができるよう心掛ける。 3 住民が高齢化に伴い、心身ともに弱くなっている見守り対応者が多くなっているため見守り対応者の状況に合わせて対応していくようにする。 4 お茶飲みサロンの参加者が減少傾向にあるので、参加者や見守り登録者等に口こみでお誘いいただけるようお話しする。（特に男性参加者が少ない）

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
四季の森小学校放課後キッズクラブ		北村 幸恵	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1	労働等により放課後に保護者がいない児童が安心して安全に過ごすことが出来る居場所を提供した。	
	2	利用児童の通学する小学校をはじめとした地域の団体や関係機関との密接連携をしたクラブ活動を目指した。	
	3	利用児童が日々のクラブ活動やほかの児童との交流により基本的な生活習慣を身につける事や健やかに育成されることを図った。	
	4	異年齢児間の遊びや交流で児童の創造性・自主性・社会性を育むことを目指した。	
	5	法人理念「いのちを敬い、いのちを愛し、いのちに仕える」に基づき、キッズクラブを利用するすべての児童の安全と保護者の安心を確保した上で、活動内容の充実を図った。	
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1	キッズクラブを利用するすべての児童の安全を確保し、キッズルーム・遊具・おやつのお安全面、衛生面なども含め対策し整えた。	
	2	横浜市ひかりが丘地域ケアプラザとのボランティアコーディネーターを通した連携については、感染症の感染防止の為、行うことはできなかった。	
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1	昼間平日参加児童数（利用区分1）	1日平均 9名
		熱中症アラート発令時に利用ができなくなるため、平均人数が伸びなかった。	
	2	夜間平日参加児童数（利用区分2 A・2 B）	1日平均 18名
		児童数の減少等により、目標である25名を達成できなかった。	
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1	外部の講師の方やインストラクターの方をお招きし、体験型イベントを行った。	
	2	職員研修を受けスキルアップすることができた。	
V	残された課題・その他の特記事項		
	1	イベントを充実させることにより、高学年の利用増加を図る。	
	2	障害児の需要が高い地域のため、支援員はもちろん補助員の研修参加を促しスキルアップを図る。	
	3	下校後にご家族から帰宅していないとの問い合わせに対して、他のキッズクラブは責任の所在がご家族となるため、職員が探しに行くことはないが、当キッズクラブは職員が探しに行っている現状有。今後も法人理念に基づき、児童の安全と保護者の安心確保を目指したい。	

事業報告書

令和5（2023）年度



あったかいが
いいね

社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

シャローム 桜山

令和5年度 シャローム桜山 事業報告

1. 本年度は、コロナ禍の影響で自粛を余儀なくされてきたサービスも、コロナウィルスの5類への引き下げを機に、脱コロナ禍に向けて前向きに検討できた。しかし、散発する感染症の発症はその度に業務に影響を及ぼし、職員の肉体的、精神的な負担を増加させるものとなったと同時に、入居者の不安感を煽り、日常の生活にも疲弊感をもたらすことになった。

この状況に対しては、職員が細やかな声掛けと見守りを意識しつつ、必要と思われる情報を提供することで安心感を持ってもらう事ができたが、入居者同士も日ごろからの関係性を活かして声をかけ合い、お互いに見守り合っていた。このことは、日ごろの関係性が高齢者の安全を守る上で如何に大切かを教えてくれた。改めて、集団生活における高齢者の孤立と孤独の問題に取り組む必要を認識させられた。

2. 本年度の「業務を見直し、新たな可能性にトライする」という目標については、サービスの内容を見直し、入居者やご家族を含む各関係機関との連携を密にしたことで個々のニーズに合わせた対応を取り、必要な支援に繋げることが出来たと自負するが、感染症の発生によって職員の出勤状況が不安定となり、経営や運営に良い影響を与えるだけの大きな改革を行うことは出来なかった。

3. 以前からの課題でもある「入居者の生活自立度の低下」については、自立型ケアハウスのサービス条件である「入浴と食事」だけでは不十分な状況となり、日中の見守りや夜間の緊急対応に備えた体制整備が重要な課題となっている。

現在は、夜間の宿直体制を業務委託しているが、緊急時の対応は個々の健康状態や日中の体調に関する適切な情報とそれに関する理解が必要なため、最終的には職員がフォローする必要がある。そのため、夜間帯は宿直者の他にオンコール対応職員を配置する二重のフォロー体制を取った。

4. 本年度は9名の退所者が出る事態となり、例年以上に入退去の調整が難しい年となった（表参照）。退去者の退去理由が癌による死亡を含め、認知症や身体機能の低下によることに鑑みると、シャローム桜山の入居者の平均年齢の高さから、今後もこの傾向は続くと予想する。この観点から、今後ケアハウス職員の資質向上に向けた研修等の取り組みを強化し、職員体制についても検討していきたい。

※ 数年間のコロナ禍の影響を受けて、「寂しさ」を訴える入居者が増えていることから、精神面におけるサポートを、サービスを越えた「寄り添う」という福祉的なニュアンスで捉えて関わる必要を強く感じた年度であった。

施設長 村本 英邦

令和5年度事業報告 部門名		報告者：氏名
シャローム桜山		遠藤 裕之
I	事業概況・実績報告 （今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）	
	1 ケアハウス入居者の高齢化が進んでいる（全体平均年齢 85.3 歳）。厚生労働省発表と比較すると、全国の男性平均寿命の 81.05 歳に対して平均年齢が 83.4 歳と超えており、女性の平均寿命の 85.64 歳に対して、平均年齢が 87.1 歳とこれを超えている。コロナ禍も相まって、これまでシャローム桜山が入居条件のひとつにしてきた自立の考え方についても大きな変革を求められてきた一年であった。	
II	業務目標の達成に関する報告 （達成できたこと・できなかったこと）	
	1 入居者の安全と安心に関わる取り組み ① 避難訓練を実施した。（6/21・11/15） ② 緊急時に適切な対応を取れるように、個人情報の整理を徹底する。（体調の急変時に必要な情報の整理と更新）⇒さくらやまだよりや懇談会で呼びかけた。 2 入居希望者の確保に向けた具体的な行動 ① 待機者のリスト管理（定期的な見直しと連絡による状況把握） 入居申込書の書式を変更。入居申込後 4 年以上経過した方には、現在の状況を再確認し待機リストを整理した。 ② 入居希望者を確保するために営業活動 旭区役所・地域包括支援センター・医療機関との関係を強化し、当施設の存在意義と入居者募集の広報を行った。また SNS での発信を行い、教団冊子にも入居者募集の掲載を依頼した。	
III	事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値）	
	1 入居稼働率 ① 毎月 1 日の入居者は計 574 名。（定員 600 名）稼働率 95.67% ② 死亡退去が続き年度後半に稼働率が落ちた。 2 入居者に対して、半年に 1 回、緊急時情報内容の更新の呼び掛け ① 懇談会や、さくらやま便りを通して行った。 3 年間 2 回の入居者向け勉強会の実施（認知機能・身体機能） ① 旭警察署生活安全課による特殊詐欺と交通安全についての講話。（8/2 懇談会） ② （株）メディケア福祉用具専門相談員による講話。（11/1 懇談会） 4 各種入居者向けイベントの開催 ① 体操教室（月 2 回）、音楽療法・色彩療法（各月 1 回）、しょうぶ湯 5/4、ピアノ mini コンサート 6/27・12/22、スイカを食べよう 7/28、夕涼み会 8/20、Mr.モローマジックショー11/7、ゆず湯 12/21、節分豆まき 2/1、LINE 講座 3/20	

IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）
	1 新型コロナウイルスや疥癬の感染者が確認されたが、入居者・家族・医療機関・行政・職員が的確な対応と支援を行い感染拡大になることなく終息させることができた。大きな成果であった。 2 神奈川県警旭警察署と(株)メディケアーによる入居者向け勉強会（講話）を開催した。多様な関係機関とつながることが、入居者に対する手厚い援助に結び付くと感じている。 3 令和5年6月より SNS での発信を始めた。施設に対する認知度が高まってきたと感じている。
V	残された課題・その他の特記事項
	1 ケアハウス入居者の高齢化・要介護化はこれからも重篤化していく可能性がある。またケアマネジャー（介護支援専門員）やヘルパー・職員などの支援者不足は顕著で、介護認定を受け経済的余裕があっても必要なサービスを受けることができない状況が続いている。これは社会全体の流れであり、法人での取り組みが必要な課題と思われる。 2 今年度横浜市による検査（監査）が行われ、防災・研修・虐待防止などいくつかの指摘事項があった。令和6年度はこれらの指摘された部分を適正に対応していくことが課題である。 3 設備の老朽化が進み、居室・浴室・エレベーター・空調・給湯設備・放送機器など多くの設備に故障が見られている。入居者に迷惑がかからないよう、壊れてからではなく定期点検などをして早めに保守点検をしていく必要がある。設備が整っていないと入居稼働率を引き上げることは難しい。

各月1日の入居者数（定員 30）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	50	50	49	48	50	50	48	46	46	46	46	45	574

退去理由

理由	死亡	長期入院	老健	特養（他）	家族同居
人数	4名	1名	1名	3名	1名

死亡者の死因と死亡場所

1. 盲腸がん シャローム横浜ショートステイ
2. 肺がん 国際親善総合病院
3. 腎盂がん ファミリーホスピス二俣川
4. 肺がん 横浜旭中央総合病院

事業報告書

令和5（2023）年度



あったかいが
いいね

社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

〒241-0001 神奈川県横浜市旭区上白根町 807-2 Tel (045) 953-6890

令和5年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業報告

所長 滝沢 泰彦

横浜市ひかりが丘地域ケアプラザは「地域の身近な福祉拠点」として「地域づくり」「地域のつながりづくり」を行うとともに、地域及び行政と連携し、地域の中での孤立を防ぎ、支援が必要な人を把握し支援につなげていくことを目的として設置されています。

私たちの役割は大きく分けて以下の4つになります。

- ①地域の身近な相談窓口として、日常業務や地域住民とのつながりを通じて把握しあらゆる相談や情報を受け止めること。
- ②適切な支援策を地域ケアプラザとして考え、支援を行い、あるいは適切な機関につなぎ、受け止めた相談等の支援策を考える場に主体的かつ継続的に関わること。
- ③地域の魅力と課題を把握し、課題解決に向けた活動を主体的に行うとともに、地域の活動を見守り、支え合う仕組みづくりを行うこと。
- ④旭区役所、旭区社会福祉協議会及び他の地域ケアプラザ等と連携し、個別支援で捉えた課題や地域の取り組みを旭区の施策につなぐこと。

私たち社会福祉法人アドベンチスト福祉会は、「あったかいがいいね！」をモットーに、「いのちを敬い いのちを愛し いのちに仕える」という理念を掲げ、上白根地区の「旭区地域福祉保健計画」を推進し、地域住民の方々が、安心して自分らしく暮らせるまちを目指して取り組みました。

また、今年度は特に『経営改善と人材育成』に取り組みました。

コロナ禍で、特に通所介護事業の稼働率が下がり、経営改善が大きな課題となっておりましたが、収入面ではコロナ前まで改善させることが出来ました。しかし人件費の問題や昨今の物価高騰により、経費が増え、収支に着目した場合は、経営改善とは言い難い状況です。更なる工夫や改善が求められる結果となりました。

人材育成に関しては、職員研修の更なる充実と、個別研修参加への斡旋を行いました。個人情報研修など全職員対象の研修については、当日参加できない職員の為に、録画したものを、後日視聴していただくなど、研修にもれがないよう努めたほか、個別研修も、ZOOM等を多く活用し、出来るだけ効率よく研修できるように努めました、今後も職員の知識やスキルアップを続けていきます。

令和5年度事業報告 部門名 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ 地域包括支援センター	報告者：氏 名 川上 恵美子
I 事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）	
・コロナ禍が落ち着き、ほぼ通常の事業の実施が可能となり、相談件数も増えた。職員体制が産休などの事情で一時的に欠員となったが、計画していた事業はほぼ予定通りに実施できた。例年のひかり福祉フェスタの代わりとして、地域の社会福祉施設と協力して「ひかりが丘健康応援フェスタ」を開催できたことで、既存のネットワークの維持が出来た。 ・高齢化はサービスを提供する事業所側でも深刻となっており、ケアマネジャー、ヘルパーの不足が課題となってきた。特に予防プランの委託先を探すことに時間がかかるようになってきている。区内全域でも同様の状況となっている。	
II 業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）	
1 「総合相談」地域の身近な相談者として、本人又はその家族等の相談を受けとめるとともに、適切な支援もしくは関係機関等につなげた。 2 「認知症支援事業」認知症の人がその意思が尊重されできる限り住み慣れたよい環境の中で暮らし続けることができるように、アルツハイマー月間に認知症ミニ講座や啓発資料の配布を行った。関連図書の貸し出しも奨励し、良書の紹介が出来た。 3 「権利擁護」高齢者虐待の未然防止や早期発見及び適切な対応をしていくことについて。認知症等により自己の判断のみでは意思決定に支障のある高齢者の権利や財産が守られるように、終活講座を2回、司法書士との個別相談会を2回、防犯情報の提供を3回防犯講座を1回実施した。成年後見の相談を12件受けて手続きの支援をした。 4 「包括的・継続的ケアマネジメント」ケアマネジャーと地域をつなぐための支援を行い、ケアマネジャーが高齢者の生活全体を丸ごと（包括的）、どのような状態になっても切れ目なく（継続的）支えることができるケアマネジメントを実践するために、ケアマネジャー向けの研修を右記内容（ACPをテーマに在宅医療連携室との連携、薬剤師との連携、精神保健福祉講座『被害妄想』、意見交換会）で4回実施した。 5 「在宅医療・介護連携推進事業」個別課題や地域課題の解決に向けて医療機関と介護事業所等が、その日常の中で必要な情報や各々が抱える問題・課題等を互いに円滑に共有し、一体的な支援・サービスを行うことができるネットワーク・連携体制を構築していくために、協力医との勉強会を3回、ケアマネジャー研修の講師を地域の医療職に依頼して3回実施した。 6 「指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）」 「高齢者が要介護状態になることをできるだけ防ぐ（遅らせる）」「要支援状態になってもその悪化をできる限り防ぐ」ために、高齢者自身が地域において自立した日常生活を送ることができるような、ケアマネジメントを実践した。給付管理実績1547件/年。心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントを行った。 7 「地域ケア会議」適切な支援に繋がっていない高齢者に対して、公的サービス・社会資源を活用し、自立に資するケアマネジメントが地域で行われるように支援した。 具体的な地域課題やニーズを吸い上げ、資源開発や地域づくり・政策形成につなげていけるよう、「家族と縁が薄い、または身元保証人などのいない独居高齢者への支援」をテーマに、個別地域ケア会議を2回、包括レベル地域ケア会議を1回実施した。	

Ⅲ	事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値）
	- 相談には迅速・丁寧な対応を心がけ、必要があれば訪問して相談を受けた。 相談件数 1583件/年（前年度より微増）、約132件/月 - 認知症普及啓発として、アルツハイマーデー月間を中心に啓発活動を実施。 DVD「ユマニチュード」上映会を年1回行う予定だったが開催できず、次年度再度調整。 - 権利擁護の普及啓発事業を年1回、俳優による防犯演劇を1回。終活講座を2回行った。 - ケアマネジャー支援として、介護・医療の連携も含む研修会を実施、内容は、「ACP、もしも手帳」「すいみん薬・向精神薬について」「精神保健福祉講座・被害妄想」「意見交換会」協力医（整形外科・皮膚科）との勉強会を3回実施。 - 支援ネットワーク構築と維持のために、定例カンファレンス（高齢＋障害＋α）を年2回実施、内容は「身寄りのない精神疾患疑いの高齢者」と、「若年の精神障害者」について。 - 介護予防事業の開催及び認知症予防、ロコモ予防等の普及啓発を年間24回 - 地域ケア会議の開催 個別会議を年2回、包括レベル会議は年1回実施。
Ⅳ	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）
	- 相談日計システムを活用し、個別事例からの地域課題抽出・分析を行った。「家族がいない」独居世帯は市営住宅に多く、「家族も支援を要する」世帯はどのエリアにもみられることが分かった。高齢化していく地域住民による「家族代わり」の支援も困難となっており、自助・共助で解決したい課題（金銭管理、身元保証など）について地域ケア会議で取り上げた。 - 独居高齢者が認知症を発症した場合、早期発見が困難となっている。料金滞納によりいきなり停電となる事例の把握はなかったが、夫婦ともに認知機能が低下していても、同居していない家族は気づきにくく今後も検討が必要な課題である。商店街や地域住民からの連絡で生活に支障が出ていることが把握される方が多かった。地域の方々の協力無しには見守りが成り立たないことをあらためて実感した。 - 地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターと連携し、行政や地区社協、民生委員、自治会や介護保険施設、医療機関、障害福祉関係機関、商店、ボランティア等様々な方々とのネットワークを維持・強化した。日頃のやり取りがあるからこそ緊急時にも連携しやすく、迅速な対応が可能となった。 - 独居で、親族と疎遠または身寄りがいない等緊急時の対応に課題が有る高齢者について、身上介護・金銭管理（住民同士の助け合いでは困難な課題）をどのように行うか、引き続き関係機関等と連携し対応策を検討するため地域ケア会議で取り上げた。該当者が多数のため支援者側が家族代わりの支援を実施することには限界があり、身元保証をするNPO法人などに頼らざるを得ない実態を共有した。
Ⅴ	残された課題・その他の特記事項
	- 市営住宅は住戸改善のため住み替えや仮移転などで移動があり、従来のコミュニティの再編が必要となっている。見守りも、活動的な住民がいるところは安否確認の問い合わせがあるが、見守りが手薄となっているところの発見と対策が必要である。 - 令和6年度からは介護保険制度改正もあるが、予防プランの委託先不足・ヘルパーの不足が深刻となって来ており、サービス開始までに時間を要することが多くなっている。日用品の配達や有償ボランティアなどインフォーマルサービスの紹介を充実できるよう、情報収集も適宜行う。また資源の開発を区社協などに相談していく。 - 引き続き身元保証や金銭管理・身上監護についても情報収集していく。 - 家族介護者が別居の場合に、認知症への理解をどのように深めてもらうかも課題である。

令和5年度事業報告 部門名	報告者：氏 名
横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ 地域活動交流部門	川崎 数美
I 事業概況・実績報告 （今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）	
	コロナ禍によって縮小された地域活動を、新たに構築し直すべく、関係機関や五職種（社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャー・生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーター）と連携を強化して、支援し、新たな活動の場を提供することを目標に活動した一年だった。 五職種間の連携強化のおかげで、新たな事業を始める際には、有用な意見をもらい、開催に繋がった。中でも、4年ぶりにひかり福祉フェスタに替わる「ひかりが丘健康応援フェスタ」を地域の9つの事業所と連携して開催することができた。また、2つの新規事業を立ち上げ、これまで来所されなかった地域住民の利用が始まった。そして、その元となる五職種間の定期ミーティングを開始することができた。
II 業務目標の達成に関する報告 （達成できたこと・できなかったこと）	
	1. 関連機関や他職種と連携する為に会合や連絡会へ毎月定期参加に努めた。 2. 地域包括支援センターや生活支援体制整備事業等と連携して、3名の住民を介護予防サロンひだまりへ参加を受け入れた。また、次年度のオレンジカフェ（認知症カフェ）開催準備として、「メロディーカフェ」を開催した。 3. 減少している幼児・児童と、高齢者を結ぶ多世代交流イベントを季節ごとに企画し、旭区地域福祉保健計画のあいさつ活動・見守り活動の一助とするため、「みんなの庭」を始め、「クプナの会」と幼児の交流会、デイサービスでの保育園児のうたのボランティアの紹介などを行ったが、小学生とは2年生の総合事業の参加のみで多世代交流まで繋げることができなかった。 4. 地域住民のニーズに合った自主事業を実施するために、自治会・近隣事業所・他ケアプラザなどと情報を共有し、「歌うチャームング体操」を開催し、定期事業に繋がった。 5. 利用者が安心して使用できるように、敷地内の衛生環境、建物や庭、設備等を整え、あたたかい窓口対応と、迅速な対応を行えるよう創意工夫に努めた。地域ボランティアの力を借りて、庭やエントランスコーナーの整備を行った。
III 事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値）	
	1. 主催事業を月10種、延べ20回以上開催する。→毎月開催9種、複数開催7種、年1開催5種 延べ年間145回開催(地域交流関連のみ) 2. 来館者数 月1,200名以上（ウィズコロナの状況を踏まえ算出。）→平均1,209人 3. 多世代交流事業を年8回以上行う。→11回開催 4. 施設外研修に年6回以上参加し、スキルアップ・情報収集・他事業所との連携を強化する。→8回 5. シニアボランティアポイントカード研修講座を年2回以上開催する。→1回のみ開催。

IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）
	1. 五職種連携に努め、地域の見守りネットワークや居場所づくりなどの需要に応えられるよう情報収集を行い、共有する。→五職種ミーティングを1月より月例開催している。 2. 子どもの居場所作りミーティングに更なる参加者を増やし、地域連携を強める。→ことも家庭支援課の担当保健師が参加となった。 3. 五職種で連携し、認知症予防・啓発のサロンを立ち上げる。→「メロディーカフェ」を開催。次年度より年6回開催予定。 4. 災害など有事の際の役割確認と、地域との防災協力体制の強化を行う。→次年度への課題とする。 5. 貸館事業及び、来館者へのサービス向上のためサブコーディネーターと共に貸出し ICT 機器の操作手順の標準化を行い、利用者の方々に分かりやすい操作案内掲示を行う。→サブコーディネーターも ICT 機器操作、貸出し業務を行っている。 6. 開設から 20 年を経過し、経年劣化の見られる施設内の安全管理、維持のために業務分業を行い、複眼的な視点から協力して管理維持に努める。→館内の状況をサブコーディネーターとも情報を共有し管理維持に努めた。 7. ヨコハマ地域活動サービス検索ナビの普及・利用を推進し、高齢の地域住民向けに ICT 活用の講座を生活支援 C0 と連携して開催する。→地域活動検索ナビの普及・利用には繋がらなかったが、その事前段階としてのスマホ講座の支援や ZOOM 開催の講演会のサテライト開催を行い、I C T活用の普及に努めた。
V	残された課題・その他の特記事項
	1. コロナ禍が落ち着き、ようやく地域活動を以前のように取り戻しつつあるが、長く続いてきたひかり福祉フェスタはいろいろな事情で形を変えての開催へ移行していくことになった。昨年度、地域の社会福祉機関と連携してひかりが丘健康応援フェスタとして再開できたことを一歩として今年度は地域住民とも連携して、規模を拡大して開催したい。 2. この地域との特性を生かした自主事業として、オレンジカフェ活動に繋がるものとして「メロディーカフェ」、精神障害の方々への社会参加の一助としての「サンセット会・にこにこ会」などを充実させていきたい。 3. I C T活用が求められている昨今だが、高齢者の多い地域での普及は難しい。まずは今後の生活に必要と考えられるスマホ講座を生活支援コーディネーターと連携して続けて開催していきたい。 4. 災害など有事の際の役割確認と、地域との防災協力体制の強化を行っていききたい。

令和5年度事業報告 部門名 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ 生活支援体制整備事業	報告者：氏 名 松村 宏一
I 事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）	
高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続けるために、できることは自分で行い、交流や社会参加の機会にも恵まれた環境を整える一方、多様な主体による重層的な生活支援・介護予防の体制を充実させる、という視点を持って地域づくりに取り組んだ。とりわけ、コロナ禍で断絶した地域のつながりを取り戻すことに主眼をおき、住民同士の交流を再開するための支援を行った。	II 業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）
1 高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、多様な主体による支え合いや見守りの体制づくりを進める為、あいさつ・見守り・防災の3委員会開催を事務局としてサポートし、地域内での住民同士の話し合いの機会を提供した。 2 高齢者が生きがいや役割を持って活躍できるような、交流や社会参加の機会が豊かにある地域づくりの一環として、卓球等の自主事業を定期開催し、住民が身体を動かしながら交流を深められる場を用意した。 3 地域資源の把握と発掘に努めたが、個人単位でのボランティアに止まり、グループとしての活動にまでは至らなかった。 4 コロナ後の高齢者のニーズとして、交流の場の再開が求められていることから、地域サロンやサークルへ積極的に参加して支援を行った。また、ケアプラザ主催のサロンでも、高齢者が必要としている情報を提供するため、介護保険説明会等を近隣の施設と連携して開催した。	III 事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）
1 高齢者のニーズに沿った講座やイベントを年間10回以上開催。包括支援センターや地域交流部門との所内連携の他、近隣施設への見学会や、保健活動推進員やスポーツ推進員との共催による介護予防の取り組みを通じて地域内での連携を強めた。 2 地域活動への支援として、2団体3件の助成金取得をサポートした。 3 地域交流部門との共催にて、認知症サポーター養成講座やシニアボランティアポイント研修会をそれぞれ1回ずつ開催し、支援活動の担い手育成に努めた。 4 施設広報誌やブログへの投稿を通じて、年間15件以上の地域活動を紹介し、参加者と担い手の増加に努めた。	IV 業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）
1 高齢者のICT利用を援助し、生活の利便性を高めるため、スマホ講座を開催した。 2 コロナ禍で停滞していた高齢者の交流をふたたび活性化するため、周辺施設にて開催されるサロン等と連携し、地域の住民へ周知して参加の呼びかけを行うことで、新しい通いの場の創出に努めるとともに、地域と施設をつなぐことに努めた。	V 残された課題・その他の特記事項
地域の中で交流が活発化する兆しはあるものの、活動の担い手不足が引き続き大きな課題となっている。交流や支え合いの活動に住民が自発的に無理なく参加できるような環境づくりを意識しながら、今後も地域の方々に寄り添う。	

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ 居宅介護支援事業		江口 直美	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1 高齢であっても住み慣れた地域で暮らせるよう支援を行い、安心と信頼を提供する。また、利用者の基本的人権を擁護し、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本位の立場から支援していく。 介護保険法及び関係諸法令・通知を遵守する。		
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1, 他の専門職との連携 ・ 民生委員懇談会への出席、ケアプラザ協力医とのケースカンファレンスへの参加、サービス事業所、地域包括支援センター、行政、医療機関等からの相談の対応など 各機関との連携を深めた。 ・ 予防介護支援事業所と協力し予防支援居宅サービス計画書を作成した。 ・ 旭区内からの認定調査の委託に対応し地域の方々に資するように努めた。 2 専門的知識と技術の向上、信頼に繋がるサービスの提供を行った。 ・ 月に一回事業所内事例検討会を実施、他ケアマネからの意見を得られる場を作った。 ・ 包括、地域、行政、医療など各方面からの情報、助言を受け緊急の際も早急に対応出来る体制を維持した。 ・ 「サービス内容に関する利用者アンケート」を実施し業務の振り返りと改善を図った。		
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1 居宅サービス計画書作成件数：月 9 5 件×1 2 か月＝年間 1 1 4 0 件に対し 1 1 4 8 件 2 介護予防支援計画作成件数：月 2 0 件×1 2 か月＝年間 2 4 0 件に対し 2 3 4 件 3 認定調査受託件数：年間 1 0 0 件に対し 1 4 0 件 4 事例検討会の実施：年間 6 回に対し 6 回		
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1 昨年度 4 月に関してはケアマネジャー 4 人体制であったが 1 2 月、1 名退職、2 月より 1 名長期休職の為、現在 2 名体制となっている。結果、利用者を他社に依頼したことにより担当件数が減少した。 2 災害などの緊急事態でも事業が継続できる計画（BCP）を作成することで緊急事態下生命の安全をどのように確保するか、事業所内で対応を確認する必要があるが行うことが出来なかった。 3 専門職領域だけでなく民間を含めた多職種領域、保険外サービスまで領域を広げ「顔の見える関係」から「協働できる関係」づくりを目指した。		
V	残された課題・その他の特記事項		
	1 ケアマネジャーの確保 2 名体制の為、新規利用者の受け入れが困難となっている。早期に補充し地域に資する必要がある。 2 担当件数が多くなっても、きめ細やか、迅速な対応を心掛ける。 3 事業所間、医療機関、行政などと密な連携を取り、利用者が地域で自分らしく暮らしていける体制を構築していく。		

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ 通所介護事業		穴道 美知子	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1	利用者の意思及び人格を尊重し、生活意欲の維持、向上を目指し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供していく為、チェック項目の要不要の確認と削除等の業務内容の見直しを実施し、職員の目と手がより利用者へ向くようにした。	
	2	地域福祉の担い手として責任感を持ち、多様な資源との繋がりを大切に、謙虚な気持ちで、利用者及び家族に支援を行えた。	
	3	職員同士声の掛け合いを意識し、互いを思いやり、助け合い、協力して業務に取り組み、風通しの良い職場環境を目指した。	
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1	利用者が「ひかりが丘デイサービスに来て良かった」と心から楽しんで頂けるデイサービスを目指し、常に安全とサービスの質の向上を意識し、日々の業務に取り組んだ。又、利用者それぞれの生活にあった、選べるサービスを提供（9:00～15:10、9:00～16:10の時間を選択可能。レクリエーションの内容はご利用者の希望を反映し、オセロや書道等選択肢を増やした。）し、誰もが安心して生活が送れるよう支援を行った。	
	2	利用者や家族の声に耳を傾け、必要なサービスが提供できるよう連絡帳を活用した。又、「利用者アンケート」により、送迎の時間帯に関してや、思ったときに希望を伝えることができないことがある、等の意見をいただき、職員の配置の見直しを行った。	
	3	ケアマネジャーや家族、各事業所、地域包括支援センター、医療機関等と情報を共有し、連携を図ることができた。	
	4	介護保険制度、高齢者の病気や薬、介護技術、レクリエーション、調理技術や介護食等の社内研修を行い、又は外部研修に参加し、職員の資質向上に努めた。外部研修では ZOOMでの研修も活用した。	
	5	体調管理、衛生管理、検査等、感染症対策に留意し、利用者や家族、職員が安心できる環境づくりに努めた。	
	6	朝夕に全員参加のミーティングを実施することで、デイサービス内で情報を共有し、日々変化する利用者の体調に合わせ食事が提供できるよう取り組んできたが、更に昼に当日のリーダーや看護師、相談員とで情報共有する時間を取ることでより利用者の情報を共有してサービス提供に取り組むことができた。	
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1	一日平均延30人の利用者数を確保した。（通常規模・定員40名）。	
	2	介護サービス情報公表制度の調査項目を全て実施した。	
	3	物価高騰している中、「質を下げずに一月の食材単価が400円以内になるようメニュー作成を行った。	
	4	毎月一週間セレクトメニュー若しくはイベント食週間を行った。	

IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）
	1 コロナ禍で縮小したレクリエーションや季節イベントは再開できた。利用者の要望に合わせ、書道やオセロなど個別のレクリエーションの場を整えた。少人数ではあるが、参加者も増えてきている。 2 業務内容、事務作業（チェック項目の要不要等）を見直し、業務の効率化を図った。 3 物品、食材の管理を見直し、無駄を無くし、経費削減に努めた。 4 職員が資格取得に取り組めるよう、又、研修に参加できるよう ZOOM を取り入れたが、職員が積極的に参加できるような周知が不十分であった。 5 新しい食事メニューの考案や、手作りおやつを取り入れた。職員ミーティングにて試食会も実施。利用者には好評な様子であった。
V	残された課題・その他の特記事項
	1 利用者に寄り添う姿勢・謙虚な姿勢を職員一人一人が考えていくこと。 2 介護記録システム（ファーストケア）をモバイル対応化し、事務業務の効率化を図る。 3 営業業務のルーティン化。 4 利用者の笑顔を引き出すために必要なことを常に考え、サービスの向上を行っていく。

ひかりが丘地域ケアプラザ



4
月
8
日



オ
ト
ナ
の
遊
ビ
バ
学
び

月日	
4/1 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:気づきのレッスン
4/2 日	輪なげの集い:すいーとぴー
4/3 月	歌謡体操:クプナの会:けや木
4/4 火	ひろひろ
4/5 水	コスモス吟道会:キルトママ:みどり会:ラルフ
4/6 木	囲碁教室:気功太極拳
4/7 金	GOGO健康体操:みんなのポッチャ
4/8 土	ゆるっとウォーキング:梧葉の会:上白根連合自治会
4/9 日	すいーとぴー:飛鳥ダンスグループ
4/10 月	ハマトレ体操:色鉛筆画の会:民生委員会
4/11 火	やさしい体操:皆の体操:ケアプラザ委員会:森川Dr
4/12 水	ひだまり:ひまわりの会:ラルフ:中国語講座 LSAミーティング
4/13 木	いきいきアート塾:ひかりが丘書道会:けや木:連合自治会
4/14 金	民生委員懇談会:社交ダンス:ひかり卓球部:環境事業推進委員会
4/15 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:気づきのレッスン:青少年指導員会:スポーツ推進委員会
4/16 日	輪なげの集い:すいーとぴー:保健活動推進委員会
4/17 月	歌謡体操:けや木
4/18 火	しゃべり場:ひかりの会
4/19 水	ふれあい昼食会:コスモス吟道会:ラルフ
4/20 木	囲碁教室:気功太極拳:キルトママ:いこうサロン
4/21 金	みんなのポッチャ:日本語教室
4/22 土	工房面綿:上白根連合自治会
4/23 日	ハマトレ体操:絵手紙クラブ
4/24 月	色鉛筆画の会:クプナの会:みんなのポッチャ:けや木
4/25 火	しゃべり場:皆の体操:にこにこ会:森川Dr
4/26 水	ひだまり:ひまわりの会:みどり会:オトナの遊ビバ学び
4/27 木	GOGO健康体操:古典を学ぶ会
4/28 金	健康マージャン:日本語教室:社交ダンス:ひかり卓球部
4/29 土	
4/30 日	フォレスト自治会

月日	
5/1 月	歌謡体操:クプナの会:けや木
5/2 火	ひろひろ
5/3 水	コスモス吟道会:みどり会
5/4 木	囲碁教室:気功太極拳:青少年指導員会
5/5 金	GOGO健康体操:みんなのポッチャ
5/6 土	飛鳥ダンス:すずらん吟詠会:気づきのレッスン:すたてい・さぼーと
5/7 日	輪投げの集い:すいーとぴー
5/8 月	ハマトレ体操:色鉛筆画の会
5/9 火	やさしい体操:皆の体操:ケアプラザ委員会
5/10 水	ひだまり:ひまわりの会:ラルフ:中国語講座
5/11 木	いきいきアート塾:ひかりが丘書道会:けや木
5/12 金	民生委員懇談会:社交ダンス:ひかり卓球:日本語教室
5/13 土	シニアライルセミナー:ゆるっとウォーキング:梧葉の会:スポーツ推進委員会:上白根連合自治会
5/14 日	飛鳥ダンスグループ:すいーとぴー
5/15 月	歌謡体操:けや木:みんなの庭
5/16 火	しゃべり場:ひかりの会:森川Dr
5/17 水	ふれあい昼食会:コスモス吟道会:ラルフ :子どもの居場所づくり:ラルフ
5/18 木	いこうサロン:キルトママ:囲碁教室:気功太極拳: LSA包括ミーティング
5/19 金	民児協定例会:みんなのポッチャ
5/20 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:気づきのレッスン:青少年指導員会
5/21 日	輪なげの集い:すいーとぴー:夢人
5/22 月	クプナの会:色鉛筆画の会:みんなの庭:みんなのポッチャ
5/23 火	しゃべり場:にこにこ会:皆の体操:区巡回
5/24 水	ひだまり:ひまわりの会:みどり会:オトナの遊ビバ学び
5/25 木	GOGO健康体操:古典を学ぶ会
5/26 金	健康マージャン:社交ダンス:ひかり卓球部:日本語教室
5/27 土	梧葉の会:上白根連合会
5/28 日	フォレストヒルズ自治会:子ども工作あそびクラブ:ハマトレ体操:絵手紙クラブ
5/29 月	けや木
5/30 火	支え合いコア会議:森川Dr
5/31 水	



6
月
1
5
日



パ
オ
ト
ナ
の
遊
ビ
バ
学
ビ

月日	
6/1 木	囲碁教室: 気功太極拳
6/2 金	GOGO健康体操: みんなのポッチャ
6/3 土	すずらん吟詠会: 気づきのレッスン: すたでい・さぼーと
6/4 日	輪なげの集い: すいーとぴー
6/5 月	クブナの会: 歌謡体操: けや木
6/6 火	ひろひろ: すずらんコーラス
6/7 水	コスモス吟道会: みどり会: キルトママ: ラルフ
6/8 木	けや木: いきいきアート塾: ひかり書道: 支え合い連絡会
6/9 金	民生委員懇談会: 日本語教室: 社交ダンス: ひかり卓球部
6/10 土	認知症サポーター養成講座: ゆるっとウォーキング: 上白根連合自治会
6/11 日	飛鳥ダンスグループ: すいーとぴー
6/12 月	ハマトレ体操: 色鉛筆画の会
6/13 火	やさしい体操: 皆の体操: 森川Dr: ケアプラザ委員会: ひかり保育園
6/14 水	ひだまり: ひまわりの会: ラルフ: 中国語講座: 補聴器購入助成を目指す会
6/15 木	四季の森小2年まちたんけん: いこうサロン: 囲碁教室: キルトママ: 気功太極拳
6/16 金	みんなのポッチャ: 運営協議会
6/17 土	飛鳥ダンスグループ: すずらん吟詠会: 気づきのレッスン: すたでい・さぼーと: スポーツ推進委員会: 青少年指導員会
6/18 日	輪なげの集い: すいーとぴー: みんなの庭
6/19 月	歌謡体操: けや木: 区社協
6/20 火	しゃべり場: ひかりの会: すずらんコーラス
6/21 水	ふれあい昼食会: コスモス吟道会: ラルフ: 子ども居場所作りミーティング
6/22 木	GOGO健康体操: 古典を学ぶ会
6/23 金	健康マージャン: 社交ダンス: ひかり卓球部: 日本語教室: 区巡回: LSA包括ミーティング
6/24 土	梧葉の会: 上白根連合自治会
6/25 日	ハマトレ体操: フォレストヒルズ自治会: 絵手紙クラブ
6/26 月	色鉛筆画の会: みんなのポッチャ
6/27 火	しゃべり場: 皆の体操: 森川Dr
6/28 水	ひだまり: みどり会: オトナの遊ビバ学ビバ
6/29 木	包括定例カンファレンス
6/30 金	

月日	
7/1 土	飛鳥ダンスグループ: すずらん吟詠会: 気づきのレッスン
7/2 日	輪なげの集い: すいーとぴー: 夢人
7/3 月	クブナの会: 歌謡体操: けや木
7/4 火	ひろひろ: すずらんコーラス
7/5 水	コスモス吟道会: キルトママ: みどり会: ラルフ
7/6 木	囲碁教室: 気功・太極拳
7/7 金	GOGO健康体操: 日本語教室: みんなのポッチャ
7/8 土	ゆるっとウォーキング: 司法書士相談会: 梧葉の会
7/9 日	飛鳥ダンスグループ: すいーとぴー
7/10 月	ハマトレ体操: 色鉛筆画の会
7/11 火	皆の体操: ケアプラザ委員会: 上白根連合自治会: 森川Dr
7/12 水	ひだまり: 補聴器の会: ラルフ: 中国語講座: 包括ミーティング
7/13 木	けや木: いきいきアート塾: ひかり書道会
7/14 金	民生委員懇談会: 社交ダンス: ひかり卓球部
7/15 土	飛鳥ダンスグループ: すずらん吟詠会: 気づきのレッスン: すたでい・さぼーと: スポーツ推進委員会: 上白
7/16 日	輪なげの集い: すいーとぴー
7/17 月	歌謡体操: けや木
7/18 火	しゃべり場: ひかりの会: すずらんコーラス
7/19 水	ふれあい昼食会: 食中毒講習会: コスモス吟道会: ラルフ
7/20 木	囲碁教室: 気功太極拳: キルトママ
7/21 金	民児協定例会: 日本語教室: みんなのポッチャ
7/22 土	梧葉の会: 工房面綿
7/23 日	ハマトレ体操: 絵手紙クラブ: 保健活動推進委員会
7/24 月	みんなのポッチャ: 色鉛筆画の会: けや木
7/25 火	しゃべり場: にこにこ会: 皆の体操: 森川Dr相談会
7/26 水	ひだまり: みどり会: 精神科医相談会: 腰痛出張講座: 中国語講座: 安全衛生委員会
7/27 木	GOGO健康体操: 古典を学ぶ会: サンセット会
7/28 金	区巡回: 健康マージャン: 社交ダンス: ひかり卓球部: LSA包括ミーティング
7/29 土	上白根連合自治会: 青少年指導定例会
7/30 日	フォレストヒルズ自治会

ひかりが丘地域ケアプラザ



8
月
3
日



9
月
5
日
地
域
貢
献
デ
ー

月日	
8/1 火	舞扇会:ひろひろ:すずらんコーラス:ケアプラザ委員会
8/2 水	ふれあい昼食会:コスモス吟道会:みどり会:夏休みこどもクラブラルフ:ラルフ
8/3 木	囲碁教室:気功・太極拳:夏休みこどもクラブキルトママ
8/4 金	GOGO健康体操:みんなのポッチャ
8/5 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:気づきのレッスン:すたでい・さぼーと
8/6 日	輪投げの集い:すいーとぴー
8/7 月	歌謡体操:けや木
8/8 火	
8/9 水	ひだまり:ラルフ
8/10 木	けや木:いきいきアート塾:ひかりが丘書道会
8/11 金	ひかり卓球部
8/12 土	梧葉の会:上白根連合自治会
8/13 日	飛鳥ダンスグループ:すいーとぴー
8/14 月	ハマトレ体操:防火管理委員会
8/15 火	
8/16 水	夏休みこどもクラブまじあとこーた:コスモス吟道会
8/17 木	囲碁教室:気功・太極拳
8/18 金	日本語教室:みんなのポッチャ
8/19 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:すたでい・さぼーと
8/20 日	輪投げの集い:すいーとぴー:夢人
8/21 月	フレイル予防講習会:歌謡体操:けや木
8/22 火	しゃべり場:にこにこ会:森川Dr
8/23 水	ひだまり:みどり会:オトナの遊びバ学ビバ学:子どもの居場所づくりミーティング:安全衛生委員会
8/24 木	GOGO健康体操:古典を学ぶ会
8/25 金	健康マージャン:ひかり卓球部:区巡回:日本語教室:夏休みこどもクラブクッキー教室カブカブ
8/26 土	梧葉の会:上白根連合自治会
8/27 日	フォレストヒルズ自治会:ハマトレ体操
8/28 月	みんなのポッチャ:けや木:LSA包括ミーティング
8/29 火	包括定例カンファレンス:補聴器の会:区社協:森川Dr
8/30 水	ラルフ
8/31 木	包括地域ケア会議

月日	
9/1 金	GOGO健康体操:日本語教室:みんなのポッチャ
9/2 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:気づきのレッスン
9/3 日	輪投げの集い:すいーとぴー
9/4 月	クブナの会:歌謡体操:けや木
9/5 火	ひろひろ:すずらんコーラス:森川Dr:地域貢献デー
9/6 水	カブカブワークショップ:コスモス吟道会:キルトママ:みどり会:ラルフ:サンセット会
9/7 木	囲碁教室:気功・太極拳
9/8 金	民生委員懇談会:社交ダンスサークル:ひかり卓球部:体操打合せ
9/9 土	司法書士相談会:ゆるっとウォーキング:梧葉詩吟の会:上白根連合自治会
9/10 日	飛鳥ダンスグループ:すいーとぴー
9/11 月	ハマトレ体操:色鉛筆画の会
9/12 火	ひかりが丘保育園:やさしい体操:皆の体操:ケアプラザ委員会
9/13 水	ひだまり:ひまわりの会:LSA包括ミーティング:ラルフ:中国語講座
9/14 木	けや木:いきいきアート塾:ひかり書道会:包括居宅ミーティング
9/15 金	民児協定例会:日本語教室:みんなのポッチャ
9/16 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:気づきのレッスン:すたでい・さぼーと:スポーツ推進委員会:青少年指導員会
9/17 日	輪投げの集い:すいーとぴー
9/18 月	歌謡体操:けや木
9/19 火	しゃべり場:ひかりの会:区巡回:すずらんコーラス
9/20 水	ふれあい昼食会:コスモス吟道会:ラルフ
9/21 木	団地外民生委員懇談会:囲碁教室:気功太極拳:いこうサロン:フレイル予防講習会:キルトママ
9/22 金	健康マージャン:社交ダンス:ひかり卓球部
9/23 土	梧葉詩吟の会
9/24 日	フォレストヒルズ自治会:ハマトレ体操:絵手紙クラブ
9/25 月	職員健診:みんなポッチャ:色鉛筆画の会:補聴器の会
9/26 火	しゃべり場:にこにこ会:皆の体操:森川Dr相談会
9/27 水	ひだまり:ひまわりの会:オトナの遊びバ学ビバ学:みどり会:精神科医相談会:中国語講座:安全衛生委
9/28 木	GOGO健康体操:古典を学ぶ会
9/29 金	包括定例カンファレンス
9/30 土	工房面綿:上白根連合自治会
9/31 日	

ひかりが丘地域ケアプラザ



10月24日
にこにこ会



十一月十九日
ひかりが丘
健康応援フェスタ

月日		
10/1	日	輪なげの集い: すいーとぴ
10/2	月	クブナの会: 歌謡体操: けや木
10/3	火	ひろひろ: すずらんコーラス
10/4	水	カブカブワークショップ: コスモス吟道会: キルトママ: みどり会: ラルフ
10/5	木	囲碁教室: 気功太極拳
10/6	金	GOGO健康体操: 日本語教室: みんなのポッチャ
10/7	土	飛鳥ダンスグループ: すずらん吟詠会 気づきのレッスン: すたでい・さぼーと
10/8	日	飛鳥ダンスグループ: すいーとぴ
10/9	月	ハマトレ体操
10/10	火	やさしい体操: 皆の体操: カブカブ
10/11	水	ひだまり: ひまわりの会: ラルフ: 中国語講座
10/12	木	けや木: いきいきアート塾: ひかりが丘書道会: ケアプラザ委員会
10/13	金	民生委員懇談会: 社交ダンス: ひかり卓球部
10/14	土	ゆるっとウォーキング: 青少年指導員会: 上白根連合自治会
10/15	日	輪投げの集い: すいーとぴー
10/16	月	歌謡体操: けや木: カブカブ
10/17	火	しゃべり場: ひかりの会: すずらんコーラス: 森川Dr
10/18	水	ふれあい昼食会: コスモス吟道会: ラルフ
10/19	木	いこうサロン: 囲碁教室: キルトママ: 気功太極拳
10/20	金	日本語教室: 民児協定例会: みんなのポッチャ: 見守り委員会
10/21	土	飛鳥ダンスグループ: すずらん吟詠会: 気づきのレッスン: スポーツ推進委員会: 梧葉詩吟の会
10/22	日	ハマトレ体操: 絵手紙クラブ
10/23	月	クブナの会: 色鉛筆画の会: みんなのポッチャ: LSA包括ミーティング: けや木
10/24	火	しゃべり場: にこにこ会: 区巡回
10/25	水	ひだまり: ひまわりの会: みどり会: オトナの遊び: ハチレバ: 中国語講座: 子ども居場所づくりミーティング: 安全衛生委員会
10/26	木	GOGO健康体操: 口腔ケア: 古典を学ぶ会
10/27	金	健康マージャン: 社交ダンス: ひかり卓球部
10/28	土	梧葉詩吟の会: 上白根連合自治会
10/29	日	フォレストヒルズ自治会
10/30	月	補聴器の会
10/31	火	すずらんコーラス: 森川Dr

月日		
11/1	水	カブカブワークショップ: コスモス吟道会: キルトママ: みどり会: ラルフ
11/2	木	囲碁教室: 気功太極拳
11/3	金	GOGO健康体操: みんなのポッチャ: 夢人
11/4	土	飛鳥ダンスグループ: すずらん吟詠会
11/5	日	輪なげの集い: すいーとぴ
11/6	月	クブナの会: 歌謡体操: けや木
11/7	火	歌うチャージング体操: ひろひろ: すずらんコーラス
11/8	水	ひだまり: ひまわりの会: ラルフ: 中国語講座
11/9	木	けや木: いきいきアート塾: ひかりが丘書道会
11/10	金	民生委員懇談会: 社交ダンス: 日本語教室: 防災委員会: 補聴器の会
11/11	土	司法書士無料相談会: ゆるっとウォーキング: 梧葉詩吟の会: 気づきのレッスン
11/12	日	飛鳥ダンスグループ: すいーとぴー
11/13	月	ハマトレ体操: 色鉛筆画の会: LSA包括ミーティング
11/14	火	やさしい体操: 皆の体操: ケアプラザ委員会: みんなの庭と土と愛保育所: 森川Dr
11/15	水	ふれあい昼食会: コスモス吟道会
11/16	木	いこうサロン: 囲碁教室: 気功太極拳: キルトママ
11/17	金	民児協定例会: みんなのポッチャ
11/18	土	すずらん吟詠会: 気づきのレッスン: 飛鳥ダンス すたでい・さぼー: スポーツ推進委員会: 青少年指
11/19	日	ひかりが丘健康応援フェスタ
11/20	月	歌謡体操: けや木
11/21	火	しゃべり場: ひかりの会: すずらんコーラス
11/22	水	ひだまり: みどり会: 中国語講座: 支え合い連絡会 精神科医相談会: 安全衛生委員会
11/23	木	GOGO健康体操: 古典を学ぶ会
11/24	金	健康マージャン: 日本語教室: 社交ダンス: ひかり卓球部
11/25	土	工房面綿: 梧葉詩吟の会: 上白根連合自治会
11/26	日	フォレストヒルズ自治会: ハマトレ体操: 絵手紙クラブ: 環境事業推進委員会
11/27	月	クブナの会: 色鉛筆画の会: みんなのポッチャ: 補聴器の会
11/28	火	しゃべり場: にこにこ会: 皆の体操: 森川Dr相談会: 区巡回
11/29	水	
11/30	木	運協

ひかりが丘地域ケアプラザ



12月5日 メロディーカフェ開催



1月31日
サンセット会



月日		月日	
12/1 金	GOGO健康体操:日本語教室:みんなのポッチャ	1/1 月	休館
12/2 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:気づきのレッスン:夢人:すたでい・さぼーと:上白根連合自治会	1/2 火	休館
12/3 日	輪なげの集い:すいーとびー	1/3 水	休館
12/4 月	クプナの会:歌謡体操:けや木	1/4 木	気功太極拳
12/5 火	メロディーカフェ:ひろひろ:すずらんコーラス	1/5 金	GOGO健康体操:みんなのポッチャ
12/6 水	コスモス吟道会:みどり会:キルトママ:ラルフ	1/6 土	飛鳥ダンス:すずらん吟詠会:気づきのレッスン:すたでい・さぼーと:上白根連合
12/7 木	囲碁教室:気功太極拳	1/7 日	子ども工作あそびクラブ:すいーとびー
12/8 金	民生委員懇談会:社交ダンス:ひかり卓球部	1/8 月	ハマトレ体操:色鉛筆画の会:けや木
12/9 土	ゆるっとウォーキング:ハーベスト自治会	1/9 火	やさしい体操:ケアプラザ委員会
12/10 日	飛鳥ダンスグループ:すいーとびー	1/10 水	コスモス吟道会:ひだまり:ラルフ:中国語講座
12/11 月	ハマトレ体操:色鉛筆画の会	1/11 木	けや木:ひかりが丘書道会:いきいきアート塾
12/12 火	やさしい体操:皆の体操:森川Dr	1/12 金	社交ダンス:ひかり卓球部:日本語教室
12/13 水	ひだまり:5職種ミーティング:LSA包括ミーティング:ラルフ:中国語講座	1/13 土	ゆるっとウォーキング:夢人:梧葉詩吟の会
12/14 木	けや木:ひかりが丘書道会:いきいきアート塾:ケアプラザ委員会	1/14 日	飛鳥ダンス:夢人:すいーとびー
12/15 金	民児協定例会:日本語教室:みんなのポッチャ:補聴器の会	1/15 月	歌謡体操:けや木
12/16 土	飛鳥ダンスグループ:すずらん吟詠会:気づきのレッスン:すたでい・さぼーと:梧葉詩吟の会:青少年指導員会	1/16 火	しゃべり場:ひかりの会:すずらんコーラス:区巡回:森川Dr
12/17 日	輪なげの集い:すいーとびー:夢人	1/17 水	コスモス吟道会:ふれあい昼食会:ラルフ:みどり会:子ども居場所づくりミーティング
12/18 月	歌謡体操:けや木	1/18 木	歌うチャージング体操:キルトママ:囲碁教室:気功太極拳
12/19 火	しゃべり場:ひかりの会:すずらんコーラス:区巡回	1/19 金	みんなのポッチャ:補聴器の会:5職種ミーティング:LSA包括ミーティング
12/20 水	コスモス吟道会:ふれあい昼食会:子ども居場所づくりミーティング	1/20 土	すずらん吟詠会:気づきのレッスン:すたでい・さぼーと:夢人
12/21 木	いこうサロン:キルトママ:囲碁教室:気功太極拳	1/21 日	輪なげの集い:すいーとびー
12/22 金	健康マージャン:社交ダンス:ひかり卓球部:防火管理委員会	1/22 月	クプナの会:みんなのポッチャ:色鉛筆画の会
12/23 土	梧葉詩吟の会	1/23 火	しゃべり場:にこにこ会
12/24 日	ハマトレ体操:フォレストヒルズ自治会	1/24 水	ひだまり:みどり会:オトナの遊ビバ学ビバ:中国語講座:精神科医相談会:安全衛生委員会:ラルフ
12/25 月	クプナの会:みんなのポッチャ:色鉛筆画の会:けや木	1/25 木	GOGO健康体操:古典を学ぶ会
12/26 火	にこにこ会:しゃべり場:森川Dr	1/26 金	健康マージャン:社交ダンス:ひかり卓球部:日本語教室:三育保育園
12/27 水	ひだまり:オトナの遊ビバ学ビバ:みどり会:ラルフ:中国語講座:安全衛生委員会	1/27 土	梧葉詩吟の会:上白根連合自治会
12/28 木	GOGO健康体操:古典を学ぶ会	1/28 日	フォレスト自治会:ハマトレ体操:絵手紙クラブ
12/29 金	休館	1/29 月	
12/30 土	休館	1/30 火	すずらんコーラス
12/31 日	休館	1/31 水	サンセット会

ひかりが丘地域ケアプラザ



1月より定期開催「歌うチャージング体操」



二月二十八日開催
ラク家事講座は、
男性の参加も多く見
られた。

月日	
2/1 木	利用団体登録説明会: 囲碁教室: 気功太極拳
2/2 金	GOGO健康体操: 日本語教室: みんなのポッチャ
2/3 土	飛鳥ダンスグループ: すずらん吟詠会 気づきのレッスン
2/4 日	輪投げの集い: すいーとぴー
2/5 月	クブナの会: 歌謡体操: けや木
2/6 火	ひろひろ: すずらんコーラス: 森川Dr
2/7 水	カブカブワークショップ: コスモス吟道会: キルトママ: みどり会: ラルフ
2/8 木	けや木: いきいきアート塾: ひかりが丘書道会: ケアプラザ委員 会
2/9 金	社交ダンス: ひかり卓球部
2/10 土	夢人: 補聴器の会: 梧葉詩吟の会
2/11 日	飛鳥ダンス: すいーとぴー
2/12 月	ハマトレ体操: 色鉛筆画の会
2/13 火	やさしい体操
2/14 水	ひだまり: 利用団体登録説明会: ラルフ: 中国語講座
2/15 木	歌うチャージング体操: いこうサロン: 囲碁教室: キルトママ: 気功太極拳
2/16 金	民児協定例会: 民生委員懇談会: 日本語教室: みんなのポッ チャ: 5職種ミーティング: LSA包括ミーティング
2/17 土	飛鳥ダンスグループ: すずらん吟詠会: 気づきのレッスン: 青少年指導員会
2/18 日	輪投げの集い: すいーとぴー: 上白根連合
2/19 月	舞扇の会: 歌謡体操: けや木
2/20 火	しゃべり場: ひかりの会: すずらんコーラス: 区巡回
2/21 水	ふれあい昼食会: コスモス吟道会: ラルフ: 子ども居場所づくり ミーティング
2/22 木	GOGO健康体操: 古典を学ぶ会
2/23 金	健康マージャン: 社交ダンス: ひかり卓球部
2/24 土	補聴器の会: micoの会: 梧葉詩吟の会: 上白根連合自治会
2/25 日	みんなで着物を着て写真を撮りませんか: フォレストヒルズ自治 会: 絵手紙クラブ
2/26 月	クブナの会: みんなのポッチャ: 色鉛筆画の会: けや木
2/27 火	しゃべり場: にこにこ会: 森川Dr
2/28 水	ひだまり: みどり会: ラク家事講座: 中国語講座: 安全衛生委員 会
2/29 木	包括地域ケア会議

月日	
3/1 金	GOGO健康体操: みんなのポッチャ: 日本語教室
3/2 土	すずらん吟詠会: 気づきのレッスン: 飛鳥ダンス すたでい・さぼーと
3/3 日	輪投げの集い: すいーとぴー: 夢人: 環境事業推進委員会
3/4 月	クブナの会: 歌謡体操: けや木
3/5 火	ひろひろ: すずらんコーラス
3/6 水	カブカブワークショップ: コスモス吟道会: キルトママ: ラルフ: みど り会
3/7 木	囲碁教室: 気功太極拳
3/8 金	民生委員懇談会: 社交ダンス: ひかり卓球部
3/9 土	補聴器の会: ゆるっとウォーキング: 梧葉詩吟の会: 上白根連合
3/10 日	地区社協: すいーとぴー: 舞扇の会
3/11 月	ハマトレ体操: 色鉛筆画の会: シニアボラポイント講習会
3/12 火	やさしい体操: ケアプラザ委員会
3/13 水	ひだまり: ラルフ: 中国語講座
3/14 木	けや木: いきいきアート塾: ひかりが丘書道会: 山口達也依 存症講座zoom
3/15 金	民児協定例会: 日本語教室: みんなのポッチャ
3/16 土	すずらん吟詠会: すたでい・さぼーと: 青少年指導員会
3/17 日	輪投げの集い: すいーとぴー: 環境事業推進委員会
3/18 月	歌謡体操: けや木
3/19 火	ひかりの会: すずらんコーラス: 区巡回
3/20 水	コスモス吟道会
3/21 木	歌うチャージング体操: 囲碁教室: いこうサロン: キルトママ: 運協
3/22 金	健康マージャン: 社交ダンス: ひかり卓球部
3/23 土	夢人: 補聴器の会: 工房面綿: 気づきのレッスン: 梧葉詩吟 の会
3/24 日	ハマトレ体操: 夢人: 絵手紙クラブ
3/25 月	クブナの会: みんなのポッチャ: 色鉛筆画の会: 5職種ミー ティング: LSA包括ミーティング
3/26 火	しゃべり場: にこにこ会: 皆の体操
3/27 水	ひだまり: オトナの遊ビバ学ビバ: みどり会: 安全衛生委員 会: 中国語講座
3/28 木	GOGO健康体操: 気功太極拳
3/29 金	
3/30 土	飛鳥ダンス: ひかりっこ: 上白根連合
3/31 日	フォレストヒルズ自治会: 上白根連合

事業報告書

令和5（2023）年度



社会福祉法人 アドベンチスト福祉会
グループホーム シャロームミルトスの木
グループホーム シャロームミルトスの木鶴ヶ峰本町

令和5年度 グループホーム事業報告

施設長 渡部 紀久

新型コロナウイルスは5月より感染症法上の位置づけが第五類となった。以降、感染症防止対策の向上に努めながら、歌・腹話術・獅子舞等のボランティア受入れを再開する事が出来た。まだ限定的ではあるがホームでの生活は新型コロナ以前の状態に戻りつつある。

令和5年度を振り返ると、これまで猶予されていた「事業継続計画」や「認知症基礎研修」の期限が年度末に到来するために、その計画作成や研修の手配に多くの時間を費やした。また、昨年より始めた「湯せん調理」によって、以前に比べれば効率的な人員配置が行えるようになった。オンラインでの診療や研修や会議が行われ、リモートでの面会サービスも試みた。未だ課題は残っているが、多くの分野で新たな一步を踏み出すことが出来た。

しかし、年度の後半になり入所予定していた利用者様が直前で新型コロナに感染したりご自宅で倒れて入院したりという事が度々重なり、期待していた稼働率を達成することができなかった。すでに新型コロナの影響は織り込み済みではあったが、その他の様々な事態を想定して入退居管理を計画しなければならないと強く感じている。

一昨年のミルトスの木（上白根）に引き続き、ミルトスの木鶴ヶ峰本町でも無事に横浜市指定更新が完了した。さらに、新型コロナ感染拡大以後では初めての看取りを行った。限られた設備や環境での看取りは、想像以上に新型コロナを意識する事になったが、適切な看取りがおこなえた事は、今後の自信となった。

最後に、様々な状況下で常に利用者様を第一に考え行動していた職員一人一人の献身的な働きに心より感謝し、昨年度の報告とする。

令和5年度事業報告 部門名		報告者：氏名
シャローム ミルトスの木（上白根）		治部 実
I	事業概況・実績報告 （今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表） 1 各ご利用者の能力を活かして、自立した日常生活を維持できるように支援を行った。 2 新型コロナウイルスのクラスターを経験したが、その反省を活かして感染症対策の向上に努め、ホームのBCP(事業継続計画)の作成に活用した。 3 食材業者を変更したことで、人件費や経費削減に努めた。 4 歌の会や腹話術などのボランティアさんの受け入れを行い、少しずつであるがコロナ前の体制に戻す取り組みを行った。	
II	業務目標の達成に関する報告 （努力したこと 達成できたこと・できなかったこと） 1 ご利用者が穏やかな生活を送ることができるよう寄り添った支援を行うように努めた。 2 コロナウィルスのクラスターを発生させてしまったが、重症化を防ぐことができた。 3 食材業者を変更したことで、1日の職員の体制を3人から2.5人に減らした。また無駄な買い物やガソリン代などの経費削減に努めた。 4 適宜区分変更の申請を行うことで、介護負担に応じた請求をすることができた。	
III	事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値） 1 ホーム内での体操や散歩に加え、キュービーを購入して筋力の維持に努めた。 2 サービス提供体制強化加算（Ⅲ）と認知症専門ケア加算（Ⅰ）は達成した。 3 入居率95.75%、目標としていた97%を達成できなかった。	
IV	業務の改善・見直し （改善・見直しに取り組んだこと・その結果） 1 コロナ渦の中でもご家族の面会は継続して行っていたが、新しいツールの見直しや検討するまでには至らなかった。 2 水道光熱費の節約に努めたが、物価高騰のためさらなる削減が必要である。 3 コロナ渦の中で上白根ケアプラザのお茶のみサロンへの参加や地域との交流を深めるのは困難であった。 4 見守り支援カメラを活用することで、転倒事故の検証や再発の防止の取り組みはできたが、職員の接遇向上までは活かせなかった。 5 毎月のユニットミーティングなどでケアプランに基づいた根拠のあるケアができるように努めた。今後も画一的なケアではなく、ご利用者に応じた個別的なケアを重視していきたい。 6 食材業者を変更し、3食全てを湯せん調理にすることができたことにより、日中の職員の配置を3人から2.5人へ削減することができた。 7 コロナ禍の影響もあり、特養の機能訓練指導員からリハビリの指導を仰ぐことはなかった。 8 ホーム内でのICTを検討し、実践することはできなかった。また、全ての職員がスマートフォンを使用していないため、新しい連絡網の構築はできなかった。	
V	残された課題・その他の特記事項 1 職員の高齢化に伴って人員配置やタイムスケジュールなどの見直しや検討が必要となっている。 2 原材料費の高騰による値上げで、さらなる人件費の削減及びホームの収益改善を図っていく必要がある。 3 Lifeの取り組みを開始したが、軌道に乗せることができなかった。	

1 各ユニットの入居者状況

各階 9 名定員

合計 18 名

ユニット	性別	要介護度	年齢	ユニット	性別	要介護度	年齢
1 階	女性	4	94	2 階	女性	3	86
1 階	女性	2	86	2 階	女性	3	87
1 階	女性	2	83	2 階	女性	4	100
1 階	女性	1	85	2 階	女性	3	86
1 階	男性	2	74	2 階	女性	2	96
1 階	女性	2	89	2 階	女性	3	88
1 階	女性	2	84	2 階	女性	3	93
1 階	女性	1	88	2 階	女性	3	89
1 階	女性	1	98	2 階	女性	2	86

1 階 平均年齢 86. 8 歳

平均要介護度

1. 89

最高齢 98 歳

2 階 平均年齢 90. 1 歳

平均要介護度

2. 89

最高齢 100 歳

ホーム平均 88. 4 歳

ホーム平均

2. 39

2 入院者数

区分 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男性	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
女性	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	4
計	0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	1	0	7

3 入居・退居の状況

区分 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居 男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
入居 女性	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
入居者合計	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	5
退居 男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
退居 女性	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
退去者合計	0	1	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	5

4 行事報告

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	お花見散歩 お誕生日会 里山ガーデン散策	10	チャプレンのお話 お誕生日会 歌の会
5	柏餅を食べる	11	お誕生日会 避難訓練 腹話術
6	ヘアーカット お誕生日会 腹話術 歌の会	12	お誕生日会 特別昼食（お好み焼きと焼きそば） ヘアーカット クリスマス会 年越しそば

7	七夕の飾り付け お誕生日会 腹話術 かき氷を食べる 歌の会	1	おせち料理 獅子舞い お誕生日会 チャプレンのお話 100歳のお祝い（ナリコマのお寿司）
8	お誕生日会 米寿のお祝い（ナリコマのお寿司）	2	節分（豆まき） お誕生日会
9	敬老の日のお祝い お誕生日会 ヘアーカット 腹話術 獅子舞い	3	お誕生日会 おはぎ作り ヘアーカット 夜間想定避難訓練・消火訓練 歌の会 チャプレンのお話

- ・ 毎月1回・・・チャプレンのお話
- ・ 毎月第4木曜日・・・歌の会ボランティア
- ・ 隔月・・・腹話術のボランティア
- ・ 各誕生日・・・おやつにケーキでお祝い

* その他、書道のボランティア様が四季折々の習字手本を書いて下さっている。

5 運営推進会議

奇数月年6回開催

※出席者：自治会長1名・ケアプラザ包括1名・入居者代表1名・利用者家族1名・ホーム長・各ユニット長

* 令和5年度の運営推進会議は6回開催したが、うち1回は文書による開催、残りの5回は対面による開催であった。

6 職員研修（実地訓練を含む）

研修名	研修日	参加人数
感染症の予防（実地訓練あり）（ホーム内）	4月21日	16名
個人情報の保護について（ホーム内）	5月19日	17名
ハラスメントを受けたらどうする（ホーム内）	6月23日	16名
食中毒について（ホーム内）	7月21日	15名
情意考課について	8月9日	1名
感染症予防講習会（横浜市主催）	9月7日	1名
介護現場における防災（ホーム内）	10月20日	16名
身体拘束・虐待の予防（ホーム内）	11月24日	17名

集団指導講習会（オンライン研修）	12 月 12 日	1 名
認知症の理解（ホーム内）	12 月 22 日	19 名
介護保険報酬改定について（Web セミナー）	1 月 26 日	1 名
介護支援専門員更新研修	1 月から 3 月まで	1 名
認知症介護基礎研修（オンライン研修）	1 2 月から 2 月まで	5 名
転倒・転落について（ホーム内）	3 月 24 日	16 名
夜間想定避難訓練	3 月 24 日	7 名

- ・ 全体ミーティング、ユニットミーティング開催 毎月 1 回
- ・ ケアプラン見直し 半年毎

令和5年度事業報告 部門名		報告者：氏名
シャローム ミルトスの木鶴ヶ峰本町		浅岡 真美
I	事業概況・実績報告 （今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表） 1 ご利用者の能力に応じ、自立した日常生活を維持できるように支援出来た。 2 ご利用者の安全を確保し、安心した生活を提供出来た。また尊厳ある支援を家族や訪問医との協力の中で行う事が出来た。 3 新型コロナウイルスが5月より第五類となった以降も継続的に感染症防止対策の向上に努め、ホーム内での感染症発症は無かった。 4 感染症対策を行い、歌・腹話術・獅子舞等、ボランティア受入れを再開する事が出来た。	
II	業務目標の達成に関する報告 （達成できたこと・できなかったこと） 1 避難訓練は目標としている回数を実施できた。防災食は食事形態に合わせたものを用意し、実際にご利用者に食べて頂き、容器の形状・食事形態も含め適正かどうかを検討した。水消火器を使つての消火訓練や発電機の訓練も実施した。 2 ご利用者の体調変化に気づき必要な処置・訪問看護師・訪問医と連携し適切な処置をする事が出来た。 3 ご利用者の生活習慣や考え方を尊重し、寄り添う支援を行う事が出来た。1名の看取りを行った。 4 今年度は転倒による入院や特養への異動が多い中での看取りなどがあり、空室期間が長くなってしまった。ご利用者の変化に応じ適正な要介護度の申請を行う事は出来た。	
III	事業数値目標の達成に関する報告 （達成率・達成数値） 1 外気浴や散歩などにより、天候の許す範囲で1日1回外気に触れて頂く事が達成できた。室内で行える体操を積極的に行い、筋力維持に努めた。 2 サービス提供体制強化加算（Ⅲ）と認知症専門ケア加算（Ⅰ）は達成した。 3 入居率：94.1%であり、目標としていた97%を達成出来なかった。	
IV	業務の改善・強化・新たな試み （改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果） 1 感染症対策を行い、制限を設けた中でのご家族面会は一年を通して継続する事が出来た 2 地域貢献としての介護相談会は実施する事が出来なかったが、今年度は町内会行事も復活し、夏祭り・神輿巡業などには参加する事が出来た。 3 日勤3名体制から、2.5人体制への移行を徐々に進めていった。また、その中でタイムスケジュールの見直しを行い新しい勤務体制（シフト）を導入した。 4 新規入所者の情報を事前に収集し、介護がスムーズに行える様に努めた。 5 わかば学園より実習生1名を受入れ、令和6年度の入職へとつなげる事が出来た。今後も実習生受入れを継続していく予定である。	
V	残された課題・その他の特記事項 1 グループホームも要介護度が上がり、重介護になっている。適切な時期に適切な施設へスムーズに移行できる様に、入居待機者を確保出来る様、地域ケアプラザや町内会などへも情報伝達を継続していく。 2 ボランティア受入れなど徐々に再開しフォーマルな関りも増えつつあるが、コロナ以前と比較すると限られた時間である。今後は感染症対策を行いながら外出等の機会を増やしていきたい。 3 コロナ禍によりご家族との関りが少なくなった。コロナ以前に毎年行っていたホームでの家族会を再開し、ご家族同士の交流・意見交換等の場を設ける。 4 職員の高齢化に伴い、タイムスケジュール・勤務時間等、柔軟に変更・対応を行う。 5 コロナ禍で実施する事が出来なかった救命講習会をホーム内で実施する。職員全員が必要な応急手当の方法を習得すると共にAED設置施設として地域に認識してもらう様に広報にも力を入れる。	

1 各ユニットの入居者状況

各階 9 名定員

合計 18 名

ユニット	性別	要介護度	年齢	ユニット	性別	要介護度	年齢
1 階	女性	4	94	2 階	女性	2	80
1 階	女性	2	83	2 階	女性	3	85
1 階	女性	3	91	2 階	男性	3	78
1 階	女性	5	96	2 階	女性	3	81
1 階	女性	2	91	2 階	女性	2	88
1 階	女性	3	90	2 階	女性	4	98
1 階	女性	3	88	2 階	女性	1	88
1 階	女性	5	88	2 階	女性	1	92
1 階	女性	5	75	2 階	女性	4	81

1 階 平均年齢 88. 4 歳 要介護度 3. 56 最高齢 96 歳
 2 階 平均年齢 85. 6 歳 要介護度 2. 56 最高齢 98 歳
 ホーム平均 87. 0 歳 要介護度 3. 06

2 入院者数

区分 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
女性	0	2	1	0	0	0	1	2	2	2	0	1	11
計	0	2	1	0	0	0	1	2	3	2	0	1	12

3 入居・退居の状況

区分 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入 男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
居 女性	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	6
入居者合計	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	2	1	7
退 男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
居 女性	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	6
退居者合計	0	1	0	1	1	0	0	0	1	2	1	0	7

4 行事報告

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	お花見ドライブ・散歩	10	防災避難訓練 担架・自家発電機・水消火器訓練 三育保育園運動会の動画視聴
5	菖蒲湯 母の日のお祝い シャローム横浜訪問	11	自治会へ使用済み切手の寄付
6	アジサイ見学 父の日のお祝い	12	クリスマスランチ 亀甲山教会のクリスマス会視聴 獅子舞巡業 年越しそば
7	七夕かざり	1	元旦 おせち料理 書初め 福笑い

8	ミルトス夏祭り・かき氷
9	敬老の日のお祝い

2	節分（豆まき）
3	雛祭りランチ 夜間想定避難訓

- ・ 毎月1回・・・チャプレン訪問
 - ・ 不定期・・・紙芝居 ボランティア様
 - ・ 隔月に1回・・・腹話術 ボランティア様
 - ・ 毎月1回・・・歌の会 ボランティア様
 - ・ 各誕生日・・・おやつにケーキ、食事の際にお赤飯などでお祝い、写真入り色紙
- * その他、書道のボランティア様が四季折々の習字手本を書いて下さっている。

5 運営推進会議

偶数月年6回開催 ※出席者：地域住民1～2名・ケアプラザ職員1名・入居者1名

・利用者家族1名・施設長・ホーム長・各ユニット長

* 令和5年度の運営推進会議は6回開催したが、うち1回は文書による開催、5回は対面での開催であった。

6 職員研修・訓練

研修名	研修日	参加人数
感染症の予防について（実地訓練あり・ホーム内）	4月27日	18名
個人情報保護・法令順守（ホーム内）	5月25日	15名
防火防災管理者講習（横浜市主催）	6月8日9日	1名
食中毒について（ホーム内）	6月26日	16名
情意考課について	8月9日	17名
感染症予防講習会（横浜市主催）	9月7日	1名
介護現場における防災（ホーム内）	10月26日	16名
転倒事故の防止（ホーム内）	11月27日	13名
集団指導講習会（オンライン講習）	12月5日	1名
拘束と虐待防止（ホーム内）	12月22日	19名
腰痛・転倒の防止について（横浜市西労働基準局）	2月13日	1名
介護職員のメンタルヘルス（オンライン研修）	2月23日	1名
認知症介護基礎研修（オンライン研修）	12月から2月まで	5名

令和6年度介護報酬改定(赤字経営に陥らないために) ZOOM 研修	3 月 5 日	1 名
夜間想定避難訓練	3 月 26 日	14 名
転倒・転落について（ホーム内）	3 月 26 日	18 名

- ・ 全体ミーティング、ユニットミーティング開催 毎月 1 回
- ・ ケアプラン見直し、カンファレンス 半年毎

事業報告書

令和5（2023）年度



社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

シャローム三育保育園

シャローム三育保育園 令和5年度事業報告

全体

新型コロナウイルスも5類に移行する中、保育園事情に合わせて感染症対策を緩和しながら、行事や活動及び日常の保育業務を行う事が出来ました。

運営

年間の稼働率は99%、平均在園児数83.2/84名でした。年間を通して安定した事業運営行うことが出来ました。が、ますます保育需要が高まる中で保育士の確保が追い付いていないのが大きな課題です。

資質の向上

園内研修としてキャリアパス研修の5分野（乳児保育、幼児保育、保育実践、食育、保護者対応）とSDGsについて全8チームによる研究発表を行いました。

1月からは園の課題に取り組むために3名のリーダーを任命し、より現場レベルでの課題解決に取り組めるようにしました。この体制は令和6年度も継続しています。

地域支援

地域の子育て支援連絡会には定期的に参加し、支援活動への協力と情報の共有に務めました。年度の後半は高齢者施設などの訪問も再開する事が出来ました。

瀬谷区では2027年の花博を前に、保育園の近隣で大規模な区画整理事業が行われています。子育て世帯の転入者も増えており、一時保育の利用状況はコロナ禍以前に戻りました。年間の見学者はここ数年で最高の66名でした。

園長 村上 渉

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
保育園 保育		小幡 悦子	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1 新型コロナウイルスが5類に移行されたことを受け、現状を十分検討した上で内容の見直しを行った。園舎内への入室については最後まで制限する事になったが、それ以外については徐々に緩和していった事で子ども、保護者、職員も含めて混乱を最小限に抑える事が出来た。		
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1 保育の中長期計画の「子ども主体の保育」を継続して取り組む事が出来た。ただし今年度の事業計画にあった乳児・幼児クラスの担任交換交流を行うまでには至らず、乳児クラス間、幼児クラス間に留まった。保護者へは、主に運動会に向けた子どもたちの様子を時系列でビデオ配信したことで、多くの理解と協力を得ることが出来た。		
	2 「情意考課」と「キャリアアップ計画」を連動させることで、職員一人ひとりが経験や置かれた立場を確認し、意識することができた。		
	3 「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能な保育の実現は、園内研修のSDGs を課題に取り組んだグループを中心に、子どもたちと一緒に SDGs について考え、自分たちに出来る事を保育に取り入れることが出来た。		
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1 園児数の確保（目標稼働率 100%）：在籍数 84 名に対し平均 83.2 名。稼働率 99%。		
	2 一時保育事業（目標 300 名）：利用者数 305 名。		
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1 『「これって子ども主体？」を自他ともに問いかける』：日常の職員間のやり取りの中で「大人目線になっていないか」「子どもたちはどうしたいのか」というお互いの問いかけや、それを保育に活かすことも増えた。しかし、時間に追われ保育者が手を出して完成させてしまう場面もあり、子どもたちとの関わりを確保するための業務の改善が課題になった。		
	2 『職員の質の向上、育成』：園内研修のねらいを「育ち合い」とし、年間を通してキャリアアップと相互交流を大切に意識して進めることが出来た。		
	3 『計画的な環境構成』：子どもの姿をクラスに捉われず、職員間で共有することで子どもの思いに沿った保育環境を整えることが出来た。		
	4 『キャリアアップの意識向上』：職員全体の質の向上に必要な体制を検討し新たにリーダーという立場を作った。そのことにより現場の意見が反映しやすくなり、全体の意識が高まる事で安定してきた。		
	5 『主体性保育の見える化』：保護者へ運動会の取り組み（子ども会議・競技物の作成・お試し等の様子）を段階的にビデオ配信した。		
	6 『公共交通機関を使った施設訪問』：これまでは施設の送迎車などで訪問していたが、社会経験も兼ねた移動手段で実施した。訪問先は愛成苑（徒歩 40 分）、ひかりが丘地域ケアプラザ(路線バスと徒歩で1時間)		

V	残された課題・その他の特記事項
	1 保育の人材育成：今年度は離職者を多く出した。風通しの良い、人が育つ、人を育てる風土づくりを行い安定した職場づくりと運営を目指す。

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
保育園 給食		勝谷 広志	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1 原材料費や備品などの価格上昇のなかで、適正範囲内に収まるように継続的に努力していた。		
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1 乳児での新しい食育の取り組みの実施と継続 2 園内研修で子どもの食事環境に関して取り組むなど残食を減らす取り組み		
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1 昼食時残食量 1日あたり目標値 乳児2クラス合計1kg以内 達成率88% 幼児3クラス合計1.5kg以内 達成率95% (前年度：乳児85%、幼児98%)		
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1 子どもたちの食事環境に何が求められて、どのような変化が必要か調査する事で喫食率向上を図った。また乳児での食育活動も増やすことで「食」に興味がわくような環境作りを行なった。 2 子どもと接する時の声掛けや問いかけのしかたなどを工夫し、子どもが気持ちを伝えやすくなるように配慮した。 3 他職種との連携を強化しながら子どもたちが関心を持っていることを食育の内容とした。		
V	残された課題・その他の特記事項		
	1 食事に興味を持ってもらうために、様々な食育活動を行い指標として残食量の目標をたて課題に取り組んできた。今後の課題として、更に食事の質の向上に努め、最適な環境を整えることで、子どもたちにとって食事がよりよい時間になるようにしていきたい。		

【1】現 況 報 告

① 入所児童

(令和6年3月31日付け)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定 員	9/6	12/12	15/13	48/39			84/70
現 員	9	12	15	16	16	16	84

② 一時保育事業延利用児童数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用児童数	26	18	19	20	16	18	22	31	35	38	28	34	305

③ 行事の状況

実施日	行事名	実施日	行事名
4月3日	入園式	12月26日	もちつき
5月26日	お弁当の日（3歳児以上）	2月2日	節分祭
6月2.16	懇談会（乳児・幼児ごとに分散）	2月22日	懇談会（2歳児のみ新年度準備）
8月5.6日	お泊り保育（5歳児）	3月1日	卒園遠足
6月19～7月26日	個人面談	3月9日	入園説明会
9月15日	秋祭り	3月11日	お別れ会
10月27日	運動会（保護者見学のみ）	3月11日	入園説明会
11月1日	お弁当の日（1歳児以上）	3月14日	卒園式
11月10日～12月15日	個人面談	3月29日	進級式
12月22日	クリスマスお楽しみ会（保護者の参加無）		

《地域交流と支援》

- ・ 幼保小交流：学校探検、幼保小ドッチボール大会、球根植え
- ・ 療育センター巡回訪問：年2回
- ・ せやまる・ふれあい ふくしまつり：12月2日
- ・ せやまる・ふれあい館合同避難訓練：3月12日
- ・ 合同育児講座：11月11日
- ・ 職業体験（中学生）：3名
- ・ 職業体験（高等支援学校学生）：2名
- ・ 実習生：看護大学12名、保育専門生2名
- ・ 交流：認知症デイサービスひまわり7月15日、2月21日。愛成苑12月8日。横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ1月26日。多機能型拠点こまちハロウィンウィーク10月25日～10月31日。
- ・ 保育園見学者 66組

【2】給 食

① 食育計画 【栄養講話】 対象：3～5歳児

実施日	内 容	備 考（媒体）
7 月	旬の野菜について。（夏の味覚）	
7 月	命の大切さ（SDGs について）	
10 月	三角食べについて	
1 月	七草粥について	
2 月	節分について	
3 月	春の食べ物について	
3 月	箸の持ち方	

【3】医 務

① 健康診断

実施日	対象人数	実施人数	診断項目	異常の有無
（1回目）5月19日	81人	71人	内科	無
（2回目）10月20日	84人	75人	内科	無
実施人数と対象人数が異なるがその理由を確認し（ <u>病的</u> 、 <u>私的欠席</u> ）、経過を追った。				

② 歯科健診

実施日	対象人数	実施人数
6月29日	82人	77人
11月30日	86人（うち一時保育2名）	80人

【4】防 災 管 理

① 消防設備点検

消防設備点検（実施・届出）	令和5年6月16日（1回目）実施
	令和5年12月4日（2回目）実施
防火対象物点検（実施・届出）	令和4年11月10日実施

② 防災対策備蓄

備蓄物	数量
医務用品	使い捨てグローブ・バンドエイド・包帯・消毒液・マスク・嘔吐処理セット他
子ども用品	オムツ・おしりふき・着替え・靴・おんぶ紐等
調理器具他	鍋・ガスコンロ・食器・紙ナプキン他
食料品	水・缶詰・白米等
事務用品	筆記用具・ハサミ・ガムテープ等
他	緊急連絡先・ゼッケン・携帯用トイレ・携帯充電器・懐中電灯・軍手・ボール・ロープ・ラジオ・ガソリン等

③ 避難及び消火訓練

(実施内容に○印)

実施内容	想 定			訓 練	
実施月日	地震	火災	その他	避難	消火訓練
令和5年4月12日	○			○	○
令和5年5月10日		○		○	○
令和5年6月7日			○(不審者)	○	
令和5年6月14日			○(浸水)	○	○
令和5年6月30日			○(地域防災拠点での引き渡し)	○	
令和5年7月12日		○	防災教育(瀬谷消防)	○	○
令和5年8月9日	○			○	○
令和5年9月13日			○(台風)	○	○
			○炊き出し		
令和5年10月11日		○		○	○
令和5年11月8日			○(竜巻)	○	○
令和5年12月5日			○(不審者)	○	
令和5年12月6日	○	○		○	○
令和6年1月17日		○		○	○
令和5年2月14日	○			○	○
令和6年3月5日	○		せやまるふれあい館合同訓練	○	○

【5】職 員 研 修

① 園外研修

個 人 の 年 間 の ね ら い ・ 研 修 計 画 及 び 実 施 記 録			
		実施記録(上段:研修名・中段:主催・下段:研修日)	
	個人の年間のねらい(希望研修を含む)	①	②
		③	④
園長 村上渉		支え合い育ち合う職場を目指して	子育て家庭をみんなで支える(瀬谷区児童虐待防止啓発講演会)
		瀬谷区内保育・教育施設施設長連絡会	瀬谷区こども家庭支援課
		5.10.26	5.11.6
小幡 悦子	園全体の質の向上・風通しのいい風土づくり	職員関係におけるセルフケアと対話の技術	より良いサービス実現のための問題解決力向上研修
		フレーベル館	ウイリング横浜
		5.5.17 6.7	5.12.6
金子 武人	園全体をしっかりと把握し子どもたちに寄り添いながらの	コミュニケーション研修	
		横浜市こども青少年局	

	保育を実践できるようにしていく（コミュニケーション、障がい児保育）	5. 10. 23	
青木 彩花	それぞれの職員の思いに寄り添い話しやすい職場の雰囲気づくりに努める（目標に役立つもの、副主任としてのスキルアップ関係、障がい保育、自然あそび）	虐待防止研修	子どもの主体的な対話を支える 保育者のファシリテーションスキル
		5 区合同研修	フレーベル館
		5.7.7	5. 5. 31
下村 英里	より一人ひとりに寄り添った保育ができるよう、クラス等を越えた連携や協力をしていく。相手の意見をよく聞き 尊重すると共に自分の意見もしっかりと持つ。伝える、提案する。職務に関する全ての姿勢に関して余裕を持って取り組む（保護者支援、個別配慮の関り、食育）	プレゼンテーション研修	
		ウイリング横浜	
		5. 8. 25	
吉田 成美	一人ひとりのリズムを大切に して主体性のある保育をする。 担任、家庭と連絡をとり全体で 個々をみる（言葉、乳児保育）	保健衛生・安全対策講座	乳児保育
		白峰学園	ポピンズ
		5. 10. 19 11. 14 6. 1. 12 2. 9	6. 1. 24～2. 14（eラーニング） 2. 19
嶋村 千恵子	他クラスとの協調を意識し務める（主体性）	幼保小教育連携研修会 「言葉部会」	幼保小教育連携研修会 「自分と人と地球を大切に にする人にどう育てる か」
		横浜市こども青少年局	横浜市こども青少年局
		5. 7. 26	5. 6. 13
大平 望	乳児クラス全体での連携が密にとれるよう、自分のクラスだけではなく他クラスの保育にも目をむけより良い保育を目指す（乳児保育について、クロポンス系）	子どもが自分で考えるあそびとかかわり方の工夫	
		フレーベル館	
		5. 9. 29	
知久 ゆり	様々なものにチャレンジしたり、クラスのためにどうしたら良いのかなどを提案できるようにしていきたい（主体性保育）	非認知能力を育む	
		ルクミー	
		6.1.24	
益子 瑛梨香	人の意見が尊重できるようにする（主体性）	カウンセリングを活かした保護者対応講座	
		白峰学園	

		5. 6. 14 6. 28 7. 5 7. 19 8. 2	
川原 邦之	同僚とのコミュニケーション を的確にとり、共通の目標達成 をしていく（マネジメント）	コーチング研修	
		瀬谷区こども家庭支援課	
		5.7.12 9.14	
平井 菜緒	様々な職員とたくさん話をし て協力したい（乳児保育）	2歳児の遊びの継続と広が りを環境を通して考える	
		フレーベル館	
		5. 8. 23	
中野 友絵	発言や行動に責任を持ち、自分 のやるべきことをきちんと行 う（配慮児保育・幼児保育・保 護者支援）	子育て支援研修	
		横浜市こども青少年局	
		5. 9. 29	
千田 妃奈乃	子どもたちが楽しめる過ごし 方等、自ら考え積極的に動く （保護者対応、乳児保育）	瀬谷っ子まつり実行委員 会	
		瀬谷区こども家庭支援課	
		5.6.15 7.11 10.17 11.10 11.11 12.14	
杉本 育子	チームワークを大切にして物 事をやりとげる（配慮児保育、 主体性保育）	障がい児保育講座	幼児教育実践研修
		白峰学園	横浜市こども青少年局
		5. 6. 20 7. 18 8. 22 9. 19 10. 17	5. 7. 4 8. 1 9. 12 10. 31 12. 19
瀬谷 留美	担任間でしっかり連携を取り ながら意見交換をし、一人ひと りの発達に合う保育を行う（絵 本、乳児保育）	乳児保育講座	保護者支援・子育て支援
		白峰学園	ポピンズ
		5. 6. 19 7. 13 9. 1 10. 3 10. 20	5. 11. 13～12. 4（eラーニ ング） 12. 6
中村 涼花	知識や技術が向上できるよう 疑問に思ったことは調べて経 験につなげる。相手の意見を尊 重しながら自分の意見を周り に伝えていく。（子どもが楽し く過ごせるような言葉掛けや スキンシップの取り方）	「やってみたい！」を大 切にする保育者のまなざ し	
		ルクミー	
		5.11.8	
齋藤 菜摘	言葉づかいや話す話題などに 配慮しながら保護者や同僚と コミュニケーションをとって いく。何事にも前向きに組み 組み最後まで責任を持って行 う（障がい児保育）	乳幼児救急法研修	障がい児保育
		白峰学園	ポピンズ
		5.6.15～16	5. 12. 20～6. 1. 10（eラー ニング） 6. 1. 15
宮本 博子	子どもの主体性を大切にしな がら他の先生（クラス・年齢）	インクルージョン保育を 考える	

	との協調性も大切にしながら 保育を行っていききたい(障がい 児)	横浜市こども青少年局	
		5. 10. 4	
佐藤 百合子	子どもの思い(気持ち)に寄り 添い、担任と情報共有しながら 子どもの為の保育をしていき たい(手遊びやリトミック等)	みんなでうたおう みんなであそぼう	
		横浜市福祉保健センター	
		5. 6. 5	
宮原 恵子	遅番の仕事をきちんとこなす 中で気になること、わからない 事、困ったことは相談し改善で きそうなどころがあるか一緒 に考えてみる(子ども主体、環 境づくり、コミュニケーション)	非認知能力を育む	
		ルクミー	
		6. 1. 18	
加藤 京子	日々の保育の中で感じたこと を積極的に発信していく(配慮 児のより良い集団の中での生 活の工夫)	障がい児保育を考える	
		横浜市こども青少年局	
		5.11.15	
横森 房枝	仕事の質的向上をめざし積極 的にとりくむ(主体的保育と生 活、小学校の取り組み)	非認知能力を育む	
		ルクミー	
		6. 1. 29	
松浦 佳奈子	協調性を持ちクラス間はもち ろん他クラスとのコミュニケ ーションを大切にしてい(安 全対策、コミュニケーション、 乳児)	乳幼児救急法研修	
		白峰学園	
		5. 6. 22～23	
松本 美奈子	日々の保育中などに思ったこ と感じたことをきちんと伝え られるようにする。声の大きさ 言葉遣いに気をつける(子ども と自然)	「やってみたい！」 を大切にする保育者のま なざし	
		ルクミー	
		6. 1. 10	
鈴木 香	休職中		
勝谷 広志	食材費の管理、フリータイムラ ンチの強化(食育、離乳食、衛 生)	保護者支援・子育て支援 講座	
		白峰学園	
		5. 9. 22 10. 4 11. 20 12. 8 6. 2. 27	
一条 彩香	率先して業務に取り組む(同じ スチコンを使っているところ での研修)	食物アレルギー対応マニ ュアル研修	
		横浜市こども青少年局	

		5.12.14	
田仲 あゆむ	これまでのスキルを活かして積極的に取り組んでいきたい（アレルギー）	給食研究会	食物アレルギー対応マニュアル研修
		横浜市社会福祉協議会	横浜市こども青少年局
		5.8.3	5.12.14
熊倉 和可子	周りの人の動きを把握し、自分自身効率よく動けるようにする（アレルギー、保育園給食、偏食、幼児食アドバイザー）	食物アレルギー対応マニュアル研修	
		横浜市こども青少年局	
		5.12.14	
瀬川 梨花	他の先生方を手本にしてまずは子どもたちとの接し方を覚える。どのようにすれば自主的に動いてくれるか。（幼児安全法支援員、おもちゃインストラクター）	「やってみたい！」を大切にする保育者のまなざし	
		ルクミー	
		6.1.10	
大原 仁子	各自が主体的に PC スキルをあげ効率的に作業出来るようになるため過不足のないアドバイスを心掛ける（社会福祉法人会計・応用）	社会福祉法人会計基準対応研修（応用編）	
		ウイリング横浜	
		5.11.16～17	
岡田 千歳	他職種共働で連携を取り合いながら職員や園児双方へ啓発指導を行いたい（感染関連 保護者支援）	リスクマネジメント研修	
		横浜市保育・教育施設職員研修事務局	
		6.2.1	
澤田 浩子		衛生管理講習会	
		横浜市こども青少年局	
		5.10.30	

② 園内研修

園内研修 年間のねらい【育ち合い】

実施年月日	内容（担当職員）
4月24日	研究発表に向けての取り組み N01（参加者：リーダー・園長・主任）
4月28日	研究発表に向けての取り組み N02（担当：主任）
5月26日	・アレルギー除去について（担当：栄養士） ・嘔吐処理について（担当：看護師） ・平熱・発熱について（担当：看護師）
6月30日	・研究発表に向けての取り組み N03：グループ毎 ・保育事故について 考えよう！（担当：小幡）
7月28日	① 防災『土曜日の大地震発生・一時保育、兄弟がいる場合の広域避難場所での対応』（担当：防災係） ② コーチング研修（担当：川原・太平）
8月25日	・レジメ作成について（参加者：リーダー 担当：園長） ・研修発表に向けての取り組み N04：グループ毎
9月19～26日	心肺蘇生講習（担当：看護師）
9月29日	① 前期自己評価（担当：主任） ② 理事長より
9月12～29日	『子どもが自分で考え始める！』動画視聴（担当：主任）
10月27日	① 権利擁護（担当：園長） ② 研究発表に向けての取り組み N05：グループ毎
11月24日	① 防災『災害時の救助活動』（担当：防災係・園長） ② 研究発表に向けての取り組み N06：グループ毎
12月13～21日	研究発表に向けての取り組み N07 リハーサル（担当：園長・主任・リーダー）
12月22日	研究発表に向けての取り組み N08：グループ毎
1月26日	研究発表会
2月16日	後期自己評価（担当：主任）
2月24日	『SDGs』の取り組み発表：副主任
3月12日	① 『法人理念・保育園の役割・個人情報保護・苦情、要望解決・人権擁護他』（担当：園長） ② 『マニュアル確認』（担当：主任） ③ 『ハザード発見隊』（担当：リーダー） ④ 防災『園内設備確認』『防災機器使用』『災害時救急実地訓練』（担当：防災係）
3月29日	① 主体性・10の姿・年間カリキュラム（担当：リーダー） ② ハザードマップについて（担当：リーダー）
11月～3月	嘔吐処理ビデオ視聴（担当：看護師）

他：前期・後期で事故・ヒヤリハットのフィードバックを行う

事業報告書

令和5（2023）年度



あったかいが
いいね

社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

沖縄事業

バーテルの夢

相談支援事業所バーテル

バーテルの夢Ⅱ

2023 年度 沖縄事業 事業報告（案）

1. 沖縄事業について

沖縄事業所では、県内における子どもの貧困問題や教育に関する課題を視野に入れながら療育の観点から支援をしている。特に、その特性から学校生活や地域社会に馴染むことが難しい児童に対しては、様々な種類の支援を組み合わせることで、個々の将来に多くの可能性を掲げることが重要である。

本年度はこのことを念頭に置いて事業内容を組み立てたが、児童が個々に負う課題は多岐に渡っているため優先課題を明確にして取り組む必要がある。

放課後等デイサービスは、子どもの支援を第一義的な役割とするが、時間の流れの中で分断された支援体制は「連続性」に課題を残し、子どもの知的、精神的発達レベルに合致しないことがある。本年度は、子どもと社会の橋渡しの役割を意識してその気持ちに寄り添うことで、社会への信頼を深めるための体験に基づいた支援を目指した。

2. 現状と課題について

二つの事業所の双方に言えることは、開設当初からの課題である収支のバランスを適切に管理することである。ベーテルの夢Ⅱについては年間を通して収益をプラスに維持できたが、順調な滑り出しができたかに見えたベーテルの夢Ⅰが、昨年8月の台風6号によって甚大な被害を受け、最終的に事業所を閉鎖することになった。幸い、年度内に新しい場所での再スタートを果たすことができたが、約3か月分の収入が大幅に落ちたことは経営的に大きな痛手であった。

さらに、この出来事は職員に過大な精神的ストレスを与えたが、地域の方々や多くの関係機関から支援を受けることで、職員たちの心身両面の健康を保つことができた。多くの方々との関係性によって事業運営が成り立っていることを実感した。

一方で、この経験を通して各拠点を統合する責任者の必要性を強く感じている。職員にとって精神的な支柱となる組織上の責任者の存在は、有事の際に適切に判断を下し、指示を出す意味でリスク管理の観点からも重要であり、そのことが結果的に職員の安心につながると理解する。事業継続の観点からも人事配置の課題を残すこととなった。

3. 本年度の目標について

本年度は、「生産性のある新しい取り組みにトライする」という目標を掲げたが、散発するコロナ禍の影響で充分ではなかった。コロナウィルスは感染症法上5類に引き下げられたが、実際には子どもたち（ご家族）も職員も感染した。これに加えて他の感染症の蔓延も重なり、改めて感染症予防への取り組みの必要性を痛感させられた。

このような事情から、新たな取り組みへの挑戦は不十分だったが、各事業所で行われた支援の多くは将来に向けて大切な意味を持つものであったと理解している。

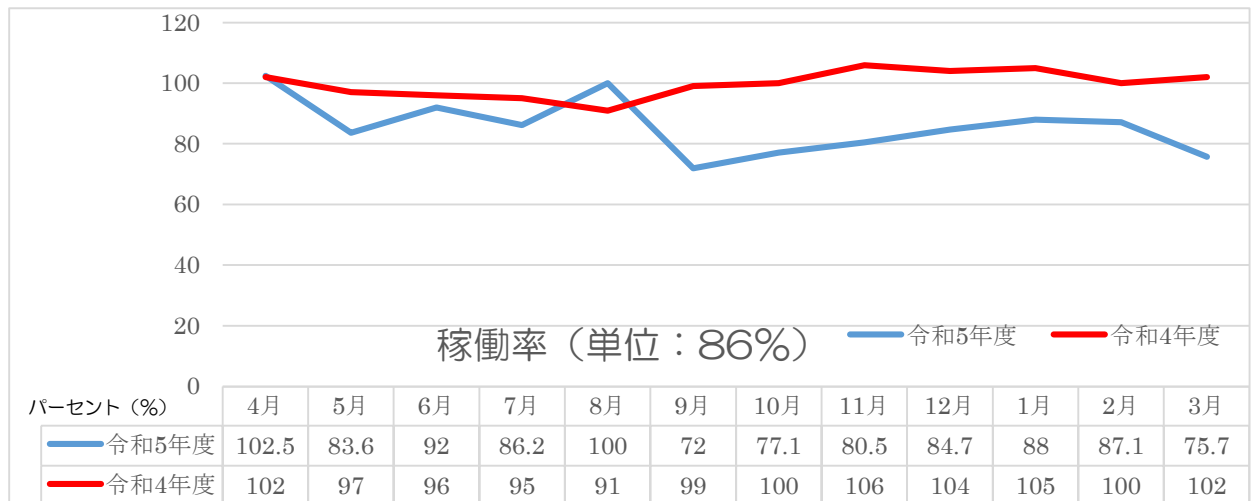
沖縄事業担当 村本 英邦

令和5年度事業報告 部門名		報告者：氏 名	
ベーテルの夢 相談支援事業所ベーテル		福地十七重	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1 利用児人数（登録者数：23名、月平均実績数：8.6名／日、年間延べ実績数：1,961名） 2 利用児平均稼働率 86%（前年度比 86%） 3 児童とその家族に寄り添い、地域社会への融合、居場所の確保、又、役割と希望を掲げ、サービスを通して対象者の価値ある人生に貢献する運営を行った。		
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	○ベーテルの夢 1 「子どもの最善の利益」を保障し、安心・安全の居場所の提供 ・8月の浸水被害による災害時に利用児の居場所を確保すること、業務継続に向けて努めた。 2 「総合支援型」における多領域の活動を実施 ・5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）に基づく支援を心がけた。特に心身のバランスを取るために始めたアニマルセラピーを通して、人間関係に影響する心理的成長を確認することができた。 3 多機能型事業所の強みを活かした運営 ・児童発達支援の利用児を積極的に受け入れ、放課後等デイサービスの継続利用に繋げた。 ○相談支援事業所ベーテル ・市町村及び多様な事業所と連携し、地域において必要な社会資源として計画相談サービスを提供することで適切な福祉サービスに繋げた。		
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	○ベーテルの夢 1 利用児の確保：1日平均利用人数（8.6名／10名定員）で未達成だった。 2 保育所等訪問支援：事業所移転に伴い、積極的な提供が難しかった。 3 避難訓練：（火災1回、地震・津波机上2回）年実施した。 4 職員研修：事業所内研修、放課後連研修、すなばの会に参加し神経発達症の特性について学びを深めた。 法定研修：児童発達管理責任者（実践研修）1名、強度行動障害支援者（実践研修）2名が受講し、職員のスキルアップを目指した。 ○相談支援事業所ベーテル 登録人数：42名 待機者：15名		
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1 適切な収益を上げるために支出の見直しを行ったが浸水被災により大きな損害を受け大幅な支出となった。保険の適用が認められた事や寄付を募った事で補填できた。 2 相談支援事業所と連携し新年度にむけて新規利用者契約を児童発達支援対象に積極的に行い児童発達支援から放課後等デイサービスへと長期的な利用ができるようにした。 3 法定研修を受講し次年度に向けた、配置加算に繋げた。又、職員研修へ参加し自己研鑽に努めた。 4 外部施設（ホースセラピー）との連携を通して利用児が大きく成長したことで、保護者の意識がアニマルセラピーの目的に強く共感した。新たな取り組みとしてドックセラピー等も取り入れた。移転先の地域においても自治会館、児童館、自治会で運営する畑（ふれあいガーデン）等の活動も長期的に行うことで地域や療育に寄与する。		

V 残された課題・その他の特記事項	
1	引き続き、収益と支出のバランスを整えると同時に、加配分の人員配置をすることで安定した運営に努める。
2	開所満5年が経ち、小学校高学年から高等部対象の利用児の環境を整えることで長い期間での個別支援を目標とできるように地域貢献に寄与し、事業の発展と拡大及び連携の必要性がある。
3	相談支援事業所べーテルに関しては利用者ニーズに応える為の人員が不足している。

利用児実績人数（名）													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平均
204	184	180	181	50	144	162	177	161	176	183	159	1961	163.42

1日平均利用児数（名）													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
10.3	8.4	9.2	8.6	10	7.2	7.7	8	8.5	8.8	8.7	7.6	8.6	



○令和5年8月の台風6号による床上浸水被害における保険金及び寄付金・寄贈

- ・財産損害費用保険金：2, 638, 843円（あいおいニッセイ同和損害保険）
- ・寄付金（沖縄）：1, 369, 000円（75件）
- ・寄付金（横浜）：311, 980円（9件）
- ・寄贈品（沖縄）：22件（玩具、本、菓子類他）

※現在も「べーテルの夢」の働きを支援したいと継続的支援寄付がある。

令和5年度事業報告 部 門 名		報告者：氏 名	
ベーターの夢Ⅱ		福地 泉	
I	事業概況・実績報告（今年度の事業を取り巻く環境・結果・状況 グラフ・数表など別表）		
	1 利用児登録数 19 名・利用延べ人数 2,471 人・平均稼働率 99% 実績報告詳細 別紙参照		
	2 保育所等訪問事業を開設したことにより、放課後デイの収益を補完し、今年度の事業所総収益増となった。		
	3 多くの実体験を通して喜びや自信を育てた。殊にベーターⅡ畑の野菜を料理する体験は喜びや自信を育て、児童の「安心」「安全」の基盤づくりとなった。		
II	業務目標の達成に関する報告（達成できたこと・できなかったこと）		
	1 安定的な稼働率を維持し、安定した収益と新たな事業（保育所等訪問）開設ができた		
	2 朝礼や定期的な職員交流を通して理念の共有を行い、職員と児童（保護者）との関係性を通して「安心」「安全」の支援を行い、信頼関係をつくることができた。		
	3 業務マニュアル作成を目指した事で役割分担を整理し、超過勤務を軽減する事ができた（マニュアル作成継続中）		
III	事業数値目標の達成に関する報告（達成率・達成数値）		
	1 職員会議 ※パート職員含む全体会議はほとんど難しかった	35 回	実施
	2 職員のコミュニケーション時間・意見交換 （聖書から理念の学び・食事交流会他）	12 回	実施
	3 事業所内勉強会	18 回	実施
	4 年間平均 稼働率	99%	
	5 避難訓練(5月・1月実施) 防犯訓練(3月実施)		
IV	業務の改善・強化・新たな試み（改善・強化・新たな試みに取り組んだこと・その結果）		
	1 保育所等訪問事業開設を上半期に目指して行い、下半期に収益事業となった。 訪問事業においては、立ち上げ以前より保護者・学校との日毎の丁寧な連携が収益事業としてカタチとなった。		
	2 保護者・学校との連携件数は 324 件となり、前年度の 224 件と比べ 100 件増となった。		
	3 不登校児の支援を通して、毎日の学校との連携により信頼関係が構築された。		
	4 口腔ケアの実践を通して、子どもの健康状態を保護者にアテンションすることが出来た。		
	5 農業を通して、地域の大人や定型発達の子どものとの交流が始まった。		
	6 土に触れる経験を通して、豊かな関係性の構築のみならず、畑の作物を使ってご飯を作る経験を日常的に行うことができた。		
	7 感染症対策として、土に触れること、野菜を食べること、自分でご飯を作る等、積極的に体を動かし、病気に罹患しにくい身体づくりを行った		
	8 性教育（いのちの授業）・クリスマス・もちつき・親子交流会等を通して保護者や地域との交流を持つことができた。		
	9 様々な実践体験活動を通して、自尊感情が育ち、子どもたちが笑顔で活動している。		
V	残された課題・その他の特記事項		

- 1 マニュアル作成を継続し、仕事の可視化を行いお互いへの思いやりと効率化を目指す。
- 2 次年度は米軍との福祉連携を視野に架け橋をかける。
- 3 保育所等訪問事業を通して、保護者と地域・学校に喜ばれる支援を継続し、安定的な支援とする。
- 4 事業の仕組みや発達支援の理解を深め、個別指導の充実化を目指す。

ベータールの夢Ⅱ 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
05年	定数	200	220	200	210	210	210	220	220	200	200	210	210	2,510
03年	人数	130	132	170	213	221	225	211	226	200	209	205	228	2,370
04年	人数	215	223	226	218	234	217	212	215	210	193	201	235	2,599
05年	人数	209	217	198	216	205	191	228	202	217	183	197	222	2,485
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
03年	稼働率	59.1%	62.9%	77.3%	96.8%	100.5%	102.3%	100.5%	102.7%	100.0%	104.5%	102.5%	99.1%	92.2%
04年	稼働率	102.4%	101.4%	102.7%	103.8%	101.7%	98.6%	101.0%	97.7%	105.0%	96.5%	100.5%	102.2%	101.1%
05年	稼働率	104.5%	98.6%	99.0%	102.9%	97.6%	91.0%	103.6%	91.8%	108.5%	91.5%	93.8%	105.7%	99.0%

